

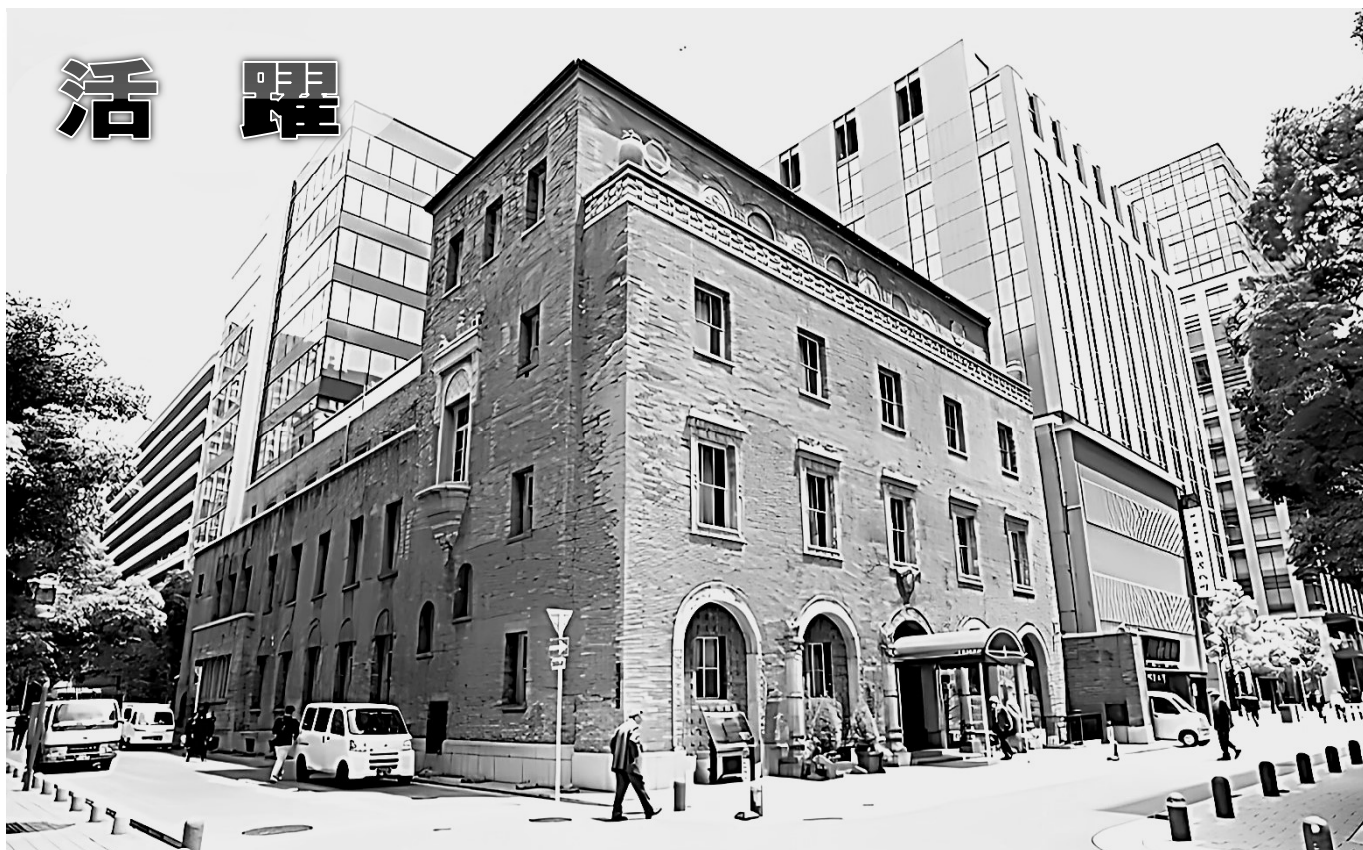
関西支部だより

第 39 号

時 習 館

かんさい

〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町6-1 グロウビル505
竹内総合法律事務所内
 時習館同窓会関西支部発行
 TEL (06)6949-8601
 FAX (06)6949-8602
 E-mail : jishukan.alumni.kansai@gmail.com



活 躍

大阪倶楽部会館全景

関西支部総会開催 2025年6月21日(土) 11時～15時

第57回時習館同窓会関西支部総会・懇親会を下記の通り開催します。会場は、関西で活躍した多くの著名人や有識者が社交クラブとして使っていた、「大阪の近代名建築」の一つ「大阪倶楽部会館」です。「知の交流と心のふれあいの場」として設立された大阪倶楽部の会館は、多くの分野で活躍している時習館同窓生が親睦を深める場として相応しいと言えます。日曜日は閉館ですので、今年度は土曜日の開催になりますが、是非、多くの皆さんの参加を期待しています。

総会・懇親会の後、大阪の歴史的遺産を訪ねるミ二観光を予定しています。詳しくはホームページをご覧ください。

時習館同窓会関西支部ホームページURL <http://www.jishu-kansai.com/>

記

第57回時習館同窓会関西支部総会・懇親会

と き : 2025年6月21日(土) 10時: 受付開始、11時～15時: 総会・懇親会

と ころ : 「大阪倶楽部会館」 大阪市中央区今橋 4丁目 4-11 (淀屋橋)

会 費 : 10,000円 (*学生 3,000円 *時習60回以降 5,000円)



申し込み

時習館同窓生のあらゆる分野での「活躍」と会場に因み、本誌ではそれをキーワードにして編集しました。

(注) 年号表記は西暦を基本とします。状況に応じて和暦も随時、使います。(編集部)

もくじ

「万歳の 三河の国へ 帰省かな」～三河男児の気概示そう～ 竹内 隆夫 …… 1

〈支部活動報告など〉

2024 年度支部総会・懇親会スナップ	……………	2
2024 年度総会出席者リスト	……………	5
2024 年度年会費納入者、「時習さろん」他	……………	6
2023 年度&2024 年度会計報告及び 2024 年度関西支部役員	……………	7
第 56 回時習館同窓会関西支部総会・懇親会の報告	河合 行朗……………	8
第 57 回時習館同窓会関西支部総会・懇親会に寄せて	米田 隆子……………	11

〈特別寄稿 本部、母校からの便り〉

時習館同窓会の更なる発展に向けて 時習館同窓会本部幹事長	木藤 政美……………	13
「国際人としての資質」を培う姉妹校交流 時習館高等学校教諭	清水 翼……………	15

〈活 躍〉

同窓会に支えられた私の暮らし～歳を重ねることは 老化ではない～	岩田 孝枝……………	19
「つれづれ」なるままに～「土いじり」に癒される日々～	花井 俊作……………	20
幕末の徒花・和田岬砲台 ～幕府瓦解、開港で実戦経験せず～	熊谷 信哉……………	23
信頼できる日本人・日系人～ブラジル移民に想う～	熊谷 信哉……………	25
歩兵第 229 連隊が南方で喘いだ病魔と飢餓	前田 充康……………	28
タイの音楽とライブチヒの音楽～「コンサート」で英気を養った海外生活～	白井 謙二……………	31
「三河の国のアリス」～ノンフィクション小説『亜米利加さん物語』より～	鈴木 優……………	35
大阪弁と三河弁のはざま～すれちがいと交わりと～	磯田 規恵……………	37
代表的三河弁一覧表	事務局……………	40
運命の出会いから始まった冒険～和歌山で生まれたクラフトビール工場の物語～	金子 巧……………	41
杉原千畝を訪ねて～ドイツ、ポーランド、リトアニア～	柳 菜津子……………	45
【訃報】大石由紀子さんのご逝去を悼む	伊藤 忠男……………	47

〈特別投稿 他支部からの便り〉

東京支部理事に加わりました～事務局新人の独り言～	東京支部 河合 康之……………	49
伝統を継承する大切さ～第44回名古屋支部総会&交流パーティーに携わり～	名古屋支部 杉浦 祐介……………	53

〈支部だより 支部規約と支部活動〉

奈良国立博物館特別展「空海」を観て～ちょっと間の楽しみ～	伊藤 忠男……………	57
「時習館同窓会関西支部ゴルフ会」～報告ならびにお知らせ～	利根川 躍……………	59
時習館同窓会関西支部規約とプライバシーポリシー	事務局……………	60

〈事務局からのお知らせとお願い〉

「ライン登録のお願い」「会員の動静」	……………	63
「会計からのお知らせとお願い」	……………	65
『時習館かんさい』へ投稿していませんか	……………	65
編集後記	……………	66

【巻頭言】



「万歳の 三河の国へ 帰省かな」

～三河男児の気概示そう～



時習館同窓会関西支部

支部長 竹内 隆夫（時習21）

先日、時習館在学時以来 58 年ぶりに豊橋公園を散策したら、公園内に富安風生の句碑がありました。それが表題の「万歳の三河の国へ 帰省かな」です。富安風生は、本名謙次、明治 18 年生、昭和 54 年没。豊川市生まれ、豊中 4 回卒（当時の卒業生は 41 名）、第一高等学校、東京帝国大学法科卒業。逓信省に入省し、のちに逓信次官を務めた人です。

俳句を始めたのは遅く、34 歳の時です。高浜虚子に師事し、「ホトトギス」同人となり、著名な虚子の高弟 4 S(水原秋桜子、山口誓子、高野素十、阿波野青畝)に続く存在と高く評価されました。

表記の俳句の季語は「万歳」で新年の季語。歳時記によれば、新年の家々を回り節付面白く、賀詞を述べて立舞をする。出身地により三河万歳、尾張万歳などが有名で、正月の華やかな門付芸の一つ。現在は少なくなつた、とあります。私も臙げに見た記憶があります。

戦前、特に役人の世界では明治維新を成し遂げた薩長土肥出身者が幅を利かし、江

戸幕府に連なる三河出身者は肩身が狭かったと聞きます(外山滋比古がそう言っていました。大正 12 年生、令和 2 年没、西尾生まれ、刈谷高 OB、東大、京大で一番読まれた本「思考の整理学」の著者として有名)。

そうした中、役人である風生が、三河出身者であることをわざわざ吐露しているこの句は、三河万歳という伝統文芸を誇りとし、三河男児であることの気概を示した俳句と読みましたが、いかがでしょうか。

時習館の学校案内によれば、時習館の敷地内にも富安風生の句碑があり、「松の芯若ささながら 立ちそろふ」と記されています。

若人の学舎に相応しい俳句だと思えます。

関西支部も、他支部と同様、いかに若い人を集めるかということで苦労していますが、少しずつ若い世代を巻き込んだネットワークが育ちつつあります。

老いも若きも、元気に、関西支部に集っていただきますようお願いいたします。

2024年度 支部総会・懇親会 スナップ



竹内支部長挨拶



小池同窓会長挨拶



寺田校長先生挨拶



岸東京副支部長挨拶



杉浦名古屋支部長挨拶



布藤さん
(時36)



西岡さん
(時36)



山本(美)さんと次女
(時56)



木村さん(時47)、福本さん(時47)
福本さんの長女



峯島さん(時44)と尾野さん(時56)



山本(論)さん(時56)



山本夫妻の
長女



高岡さん(時44)
大久保さん(時41)



近田さん(時35)



直里さん(時34)



須藤先生(時50)



本部幹事長
木藤先生 (時31)

本部幹事長補佐
飛松先生 (時30)

名古屋支部幹事長
松原さん (時24)



懇親会での乾杯 音頭 松井さん (時27)
円内は司会者 左 阿久津さん (時30) と鈴木 (優) さん (時26)

会計 花井さん (時17)
監査 鈴木 (省) さん (時21)

事務局長 河合さん (時20)



和泉さん (時27)



後 岡田さん (時20)
池田さん (時18)



左 熊谷さん (時18)
石川さん (時12)



東さん (時44)



山崎さん (時15)



小松さん (時35)



松下さん (時14)



夏目さん (時22)



岩田さん (時8)
大石さん (時10)
菅原さん (時10)



森下さん (時25)



西井さん (時22)



園家さん (時14)



アトラクション 謡曲「鞍馬天狗」

演者 山村さん(時17) 神藤さん(時17) 平田さん(時17)



峯島さん(時44)の指揮で校歌斉唱
円内はピアノ伴奏 尾野さん(時56)



時習館グッズ販売 サポートは利根川さん(時21)



万歳三唱の音頭

福本親子、山本夫妻とお子さん、尾野さん
木村さんの音頭で。司会者鈴木さんが指揮者として紛れ込む??



万歳三唱



閉会の挨拶
米田さん(時21)

観光風景

ならまち散策



庚申堂



元興寺



にぎわいの家

2024 年度時習館同窓会関西支部 総会・懇親会出席連絡者名簿

本部来賓	氏名	回	氏名	回
会長	小池 高弘	(時25)	顧問	寺田 安孝 校長先生
副会長	大須賀憲太	(時20)	幹事長	木藤 政美 (時31)
幹事長補佐	飛松 孝司	(時30)		
他支部来賓				
東京支部	岸 徹 副支部長	(時17)		
名古屋支部	杉浦 康夫 支部長	(時17)	名古屋支部	松原 秀式 幹事長 (時24)

回	(氏名)	(勤務先他)	出身小・中学校	回	(氏名)	(勤務先他)
	寺田 安孝	校長先生		21	横井 愛子	株式会社 諸国美味 福岡小・南部中
6	大林 洽子		松葉小・豊城中	21	米田 隆子	向山小・中部中
8	岩田 孝枝		新川小・中部中	22	西井 完	宮崎小・宮崎中
10	大石由紀子	Tada Parking Lot	松葉小・豊城中	22	夏目恵吏子	東田小・青陵中
10	菅原 民生		塩津小・付属岡崎中	24	松原 秀式	名古屋支部幹事長 栄小・南部中
11	美馬 洋子		蒲郡南部小・蒲郡中	25	小池 高弘	同窓会会長 蒲郡南部小・蒲郡中
12	石川吉之助	山本通産(株)	蒲郡南部小・豊城中	25	森下 庸子	共栄製茶(株) 栄小・南部中
12	鈴木 茂樹	㈱カバーオールジャパン	新川小・中部中	26	鈴木 優	大阪共立(株) 蒲郡南部小・蒲郡中
	豊美子			27	松井誠一郎	羽田中
13	伊藤 忠男	㈱丸島アクアシステム	小沢小・五並中	27	和泉 裕子	新城小・新城中
	純子			27	北川 井子	細谷小・五並中
13	小田 宗		蒲郡南部小・蒲郡中	30	飛松 孝司	本部 幹事長補佐 小坂井西小・小坂井中
13	近藤 洋			30	阿久津詠美	
14	片岡 聡子		松葉小・豊城中	30	菊井 昌代	吉田方小・吉田方中
14	園家 文	書道家	杉山小・杉山中	31	木藤 政美	本部 幹事長 高師小・高師台中
14	古田 啓子		二川小・二川中	34	直里 伸雄	
14	松下 和正	地域観光ガイド	蒲郡南部小・蒲郡中	35	近田 昇	一宮東部小・一宮中
14	石田 天祐		遠州森小・湖西中	35	小松麻利子	
15	吉田 久善	(株)ネットアルファ	八町小・豊城中	36	鈴木富美子	植田小・南稜中
15	山崎 達彦	(株)大広		36	西岡 洋子	
17	白井 一次		国府小・豊川西部中	36	布藤 智康	
17	花井 俊作	アサヒ産業㈱	松葉小・豊城中	41	大久保 孝	商工中金 大阪支店 二川小・東部中
17	山村 信哉		豊川小・東部中	44	東 孝次郎	(株)任天堂 岩田小・豊岡中
17	岸 徹	東京支部副支部長		44	高岡 有理	大阪はびきの医療センター 名古屋滝川小・南部中
17	杉浦 康夫	名古屋支部支部長		44	峯島 望美	ソプラノ歌手 栄小・南部中
17	神藤裕一郎			47	木村 寛淳	
17	平田 正文			47	福本 礼子	岩田小・豊岡中
18	池田 和子		青陵中		長女	
18	熊谷 信哉		愛教大附属中	50	須藤 絢美	元校内幹事 豊川小・豊川東部中
20	宇留島美恵		東田小・青陵中	56	尾野 文香	ピアニスト 高師小・本郷中
20	岡田 順子		松山小・中部中	56	山本 諭	商工中金 東大阪支店 牛川小・青陵中
20	大須賀憲太	本部 副会長	八町小・豊城中	56	山本 美帆	大阪市立啓発小学校 豊小・豊岡中
20	河合 行朗		新川小・中部中		長女	
21	鈴木 省三		松葉小・豊城中		次女	
21	利根川 躍		大崎小・南稜中			
21	竹内 隆夫	竹内総合法律事務所	三谷小・三谷中			
	正子					

2024年度分 年会費納入者

2024年度分 年会費納入者（シニア会員）

尾嶋 喜隆 (時1)	嶺田 次夫 (時11)	高柳 枝直 (時16)	岡田 順子 (時20)	高桑 眞子 (時23)
彦坂 利久 (時3)	美馬 洋子 (時11)	市川 光雄 (時17)	岡田 行功 (時20)	中西 立美 (時23)
松永 宜範 (時4)	石川吉之助 (時12)	宇井 正和 (時17)	河合 行朗 (時20)	牧原 正記 (時23)
大林 冷子 (時6)	川勝英十津 (時12)	桑木 桂子 (時17)	小西 康雄 (時20)	池内 真弓 (時24)
前田 泰宏 (時7)	杉浦 敏男 (時12)	白井 一次 (時17)	長野 鈴代 (時20)	岡田 博子 (時24)
岩田 孝枝 (時8)	鈴木 茂樹 (時12)	杉井 孝 (時17)	松浦 茂男 (時20)	竹内 光一 (時24)
尾野あつ子 (時8)	伊藤 忠男 (時13)	花井 俊作 (時17)	山口 隆昭 (時20)	高野 光代 (時24)
片岡優美子 (時8)	小田 宗 (時13)	山村 信哉 (時17)	山口真知子 (時20)	原田 典彦 (時24)
草場 恒夫 (時8)	近藤 洋 (時13)	池田 和子 (時18)	鈴木 省三 (時21)	山本 雄二 (時24)
榎原 勝朗 (時8)	遠藤 征宏 (時14)	小田 賢治 (時18)	鈴木 晴久 (時21)	井本千津子 (時25)
杉原 伸一 (時8)	石田 天祐 (時14)	草尾 正治 (時18)	鈴木 良始 (時21)	太田 智子 (時25)
松尾 昌子 (時9)	片岡 聰子 (時14)	熊谷 信哉 (時18)	竹内 隆夫 (時21)	大道 安代 (時25)
大石由紀子 (時10)	薩摩 浩世 (時14)	酒井 康利 (時18)	鶴田 悦男 (時21)	加藤 公也 (時25)
北谷 栄治 (時10)	園家 文 (時14)	鈴木 康浩 (時18)	利根川 躍 (時21)	田中 義宏 (時25)
菅原 民生 (時10)	古田 啓子 (時14)	堂本こすぎ (時18)	松岡 譲 (時21)	森下 庸子 (時25)
田中 迪子 (時10)	松下 和正 (時14)	前田 充康 (時18)	横井 愛子 (時21)	善積あさみ (時25)
井口 喜之 (時11)	藤田 和弘 (時15)	遠藤さく代 (時19)	米田 隆子 (時21)	鈴木 優 (時26)
竹内 郁子 (時11)	山崎 達彦 (時15)	富山 幸世 (時19)	今川 正良 (時22)	林 政司 (時26)
寺部 茂 (時11)	吉田 久善 (時15)	村田 節子 (時19)	夏目恵吏子 (時22)	中村 佳正 (時26)
中村 篤司 (時11)	石黒 和廣 (時16)	宇留島美恵 (時20)	西井 完 (時22)	吉福ゆかり (時26)

2024年度分 年会費納入者（正会員）

和泉 裕子 (時27)	両角 成宏 (時29)	鈴木富美子 (時36)	東 孝式郎 (時44)	尾野 文香 (時56)
鬼本英太郎 (時27)	阿久津詠美 (時30)	西岡 洋子 (時36)	高岡 有理 (時44)	清水 大志 (時56)
北川 井子 (時27)	菊井 昌代 (時30)	布藤 智康 (時36)	久本 愛 (時44)	松井めぐみ (時56)
夏目達一郎 (時27)	中村利久子 (時33)	磯田 規恵 (時37)	峯島 望美 (時44)	山本 諭 (時56)
不破 靖 (時27)	直里 伸雄 (時34)	山畑 幸二 (時38)	源馬 務 (時46)	山本 美帆 (時56)
松井誠一郎 (時27)	山本 正義 (時34)	住友 宏之 (時40)	中野 正善 (時46)	柳 菜津子 (時66)
鈴木 毅 (時28)	近田 昇 (時35)	本田 一彦 (時40)	福田 悦子 (時46)	
藤井 順子 (時28)	小松麻利子 (時35)	大久保 孝 (時41)	木村 寛淳 (時47)	
真木 伸治 (時29)	金井 裕子 (時36)	伊東真理子 (時43)	福本 礼子 (時47)	

(本誌作成着手以降にお振り込みいただいた方については、正確でない場合が考えられます。その際はご容赦願います)

「時習さろん」他

於：大阪倶楽部

「時習さろん」2024. 9. 21、11. 30 および 2025. 3. 29

「卒業60周年を祝う会」開催

「時習さろん」は今年度、3回開催されました。今年度の特徴は、若い人の参加が増加。それも66回生や71回生の方を迎えての「さろん」は、すごく新鮮で、楽しく、頼もしく、嬉しい限りです。これを契機に、徐々に、世代を超えた交流の場に発展するでしょう。同窓会に新たな希望の光が差し込んだ今年度、今後が楽しみです。皆さんの更なるご協力の程、お願いいたします。

竹内支部長の呼びかけで、昨年(2024年4月25日)「卒業60周年を祝う会」が行われました。60周年を超えた方を中心に、4人の奥様方を含め、参加者は15名でした。長生きする秘訣は?などの話題で盛り上がり、楽しひと時を過ごしました。支部長のご支援によるもの、この場をお借りし、お礼申し上げます。事務局より



会計報告と役員

会計報告書 2023年度

(収入の部)		(支出の部)	
前期繰越金	600,406	総会費(京都ブライトンホテル)	678,734
総会会費	770,000	会報など印刷代	344,637
正会員&シニア会員年会費	328,000	通信、郵送費	75,480
支部育成費(本部より)	250,000	出張費・交通費	72,146
寄付金	0	送金手数料	18,665
雑収入	0	雑費(会議費など)	32,352
普通預金利息	3	次期繰越金	726,395
(合計)	1,948,409	(合計)	1,948,409

以上のとおりであります。

2024年4月4日 会計 花井 俊作

2023年度の事業の収支報告について、会計帳簿ならびに証憑書類について監査した結果、その収支および取り扱い方法は適正に執行されていたと認めます。

2024年4月4日 監事 鈴木 省三

会計報告書 2024年度

(収入の部)		(支出の部)	
前期繰越金	726,395	総会費(奈良ホテル)	669,150
総会会費	680,000	会報など印刷代	364,430
正会員&シニア会員年会費	312,000	通信、郵送費	112,544
支部育成費(本部より)	250,000	出張費・交通費	53,370
寄付金	0	送金手数料	18,766
雑収入	0	雑費(会議費など)	63,664
普通預金利息	280	次期繰越金	686,751
(合計)	1,968,675	(合計)	1,968,675

以上のとおりであります。

2025年4月3日 会計 花井 俊作

2024年度の事業の収支報告について、会計帳簿ならびに証憑書類について監査した結果、その収支および取り扱い方法は適正に執行されていたと認めます。

2025年4月3日 監事 鈴木 省三

注：2023年度会計報告は第56回総会にて承認されたものです。2024年度会計報告は第57回時習館同窓会関西支部総会にて審議を予定しています。

2024年度 時習館同窓会関西支部役員

広 顧 監 会		理 事 務 局 長	副 支 部 長
報 問 事 計		事 務 局 長	支 部 長
松 伊 石 鈴 花 尾 峯 久 東 鈴 近 馬 阿 鬼 和 森 宮 西 松 鈴 利 長 岡 村 鈴 山 山 河 松 北 鈴 米 竹		井 藤 川 木 井 野 島 本 木 田 場 久 本 泉 下 崎 井 岡 木 根 野 田 田 木 村 崎 合 井 川 木 田 内	誠 一 井 隆 夫
一 忠 之 省 俊 文 望 式 美 都 詠 太 裕 庸 裕 晴 鈴 行 節 康 信 達 行 松 北 鈴 米 竹		郎 助 三 作 香 美 愛 郎 子 昇 子 美 郎 子 子 二 完 讓 久 躍 代 功 子 浩 哉 彦 朗 郎 子 優 子 夫	
(時 27)	(時 13)	(時 21)	(時 17)
(時 56)	(時 44)	(時 44)	(時 44)
(時 36)	(時 35)	(時 32)	(時 30)
(時 27)	(時 27)	(時 25)	(時 24)
(時 22)	(時 21)	(時 21)	(時 21)
(時 20)	(時 20)	(時 19)	(時 18)
(時 15)	(時 17)	(時 15)	(時 20)
(時 27)	(時 27)	(時 26)	(時 21)
(時 21)	(時 21)	(時 21)	(時 21)

総会報告



節目となる「奈良ホテル」総会

～第56回時習館同窓会関西支部・懇親会報告～

事務局長 河合 行朗（時習 20）



○ 同窓会の節目を演出する「奈良総会」

2018年の第52回総会・懇親会から、6年を経て再び奈良ホテルに戻ってきました。当時のこと、「弥田先生（時44）による春日大社の案内」でご記憶かと思います。

奈良総会は2010年から数えて4回目を迎えます。今思えば、それぞれ同窓会の節目の時期に奈良開催を迎えます。第56回総会もコロナ禍から抜け出した完全復活の時期と重なります。

奈良での会場は毎回、興福寺の一角に建てられた奈良ホテルです。時空を超えて日本の始まりを肌で感じる総会、何とも言えぬ不思議な力が得られる総会であったような気がします。

2024年の総会出席者は71名（関西支部会員は57名、本部役員及び他支部来賓等11名、子どもさん3名）でした。総会・懇親会の概要とその雰囲気をお伝えいたします。

○ 総会挨拶から

11時よりお馴染みの鈴木優さん（時習 26）から「お待たせいたしました。それではただ今から時習館高校・同窓会関西支部の第56回総会を始めます。多数の方々にご出席いただき、賑やかに関西支部総会を開くことが出来たこと嬉しく思います」の言葉で始まりました。

まず、竹内隆夫支部長（時習 21）の挨拶に先立ち、小野栄道（時習 13）さん、藤田和弘（時習 15）さんを追悼し30秒間の黙禱。

竹内支部長の開会挨拶の中で「時習さろん」の再開を発表、9月21日大阪倶楽部で第1回目を開くとの報告がありました。

来賓挨拶に移ります。例年通り、最初は小池高弘同窓会本部会長（時習 25）からです。

・「おかえりなさい」飛松先生

会長から木藤幹事長（時 31）の補佐として飛松先生（時 30）が就かれるとの発表がありました。飛松先生は関西支部とは縁が深く、2014年まで、校内幹事として長年お世話になりました。

2014年の奈良総会以降、少し間が空き、「おかえりなさい」の心境です。

実は奈良総会が始まった2010年には、木藤先生と飛松先生が校内幹事、そのコンビが今回、幹事長と幹事長補佐で復活したことになります。今後ともよろしく願いいたします。



林校長、鳥山前校長 木藤教頭

下の写真は2014年奈良総会での飛松先生（右）



本部役員
大河さん（時22）、清水さん（時14）、飛松さん（時30）



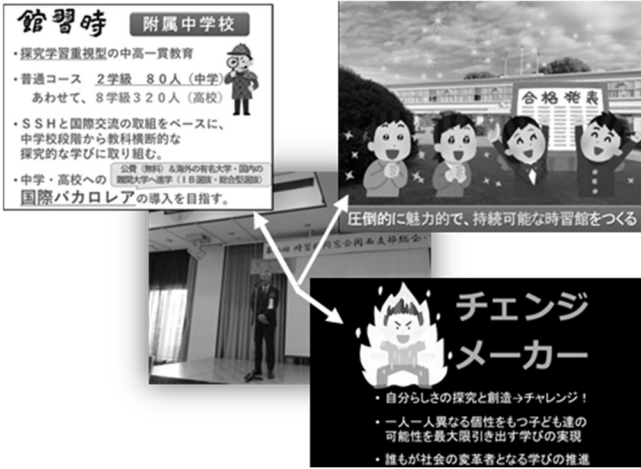
会長より、木藤幹事長（左）、飛松幹事長補佐（中）の紹介
上部写真左は2010年奈良総会での木藤先生（右）

・ 中高一貫校等について母校校長から説明

寺田安孝校長のご挨拶では、パワーポイントを用い、「いま、時習館がおもしろい！！」と題して、次のような意気込みをお聞きしました。

一人ひとりの異なる個性を持つ子どもたち、その可能性を最大限引き出す学びの場を提供します。自分らしさの探求と創造。多様でとんがった個性を探究学習で伸ばす。それに向かい挑戦する人…チャレンジメーカーの創出を目指しています。中高一貫校として飛躍的に発展させることも含まれます。そこでは公費（無料）で海外の有名大学・国内の難関大学への進学が可能な国際バカロレア導入を実現させます。

少し進学率が伸びただけで「# どうした時習館なんて言われたい」圧倒的に魅力的で、地域の期待に応える持続可能な時習館をつくるのが目標です。



校長先生の説明に用いられたパワーポイント

・名古屋支部では総会案内パンフレットを発行
来賓挨拶は東京支部岸徹副支部長（時習 17）
に続いて、名古屋支部杉浦康夫支部長（時習 17）
の挨拶です。

そこで、2024年の総会で、新たな取り組みを
始めたとの紹介がありました。今後の参考になる
ので紹介します。

動機は資料などの郵送費が会計を圧迫してい
ます。将来何とかしないと厳しい。そこで総会
案内パンフレットを作成し、郵送料を減らす可
能性を探るといふものです。

松原幹事長にパンフレットコストをお聞きし
たところ、2000枚作成して、13,850円（1枚7
円）。資料を入れての郵送料だと、338,800円（25
倍）かかります。将来
パンフレットの活用
で減らせないか、研究
していきますとのこ
とです。

名古屋だけでなく、
東京、関西とも同じ悩
みを抱えています。よ
り広く、より安価で、
正確に情報を伝える
ことが同窓会活動の
共通の課題です。名古屋支部の取り組みを注視
していきたいと思ひます。



名古屋支部で発行した
総会案内パンフレット

○ 議事進行は順調に進む

総会の議事が開始されました。会計報告は花
井俊作会計役員（時習 17）、監査報告は鈴木省
三監事（時習 21）から報告され共に拍手をもつ
て承認されました。ただ年次別会費納入の傾向
を見ると、シニア会員と正会員の割合が歪にな
ってきています。また、「郵便料金の値上がりは
直接郵送費に響きます。ホテル料金の高騰によ
り会場の選定・交渉に苦心することになりそう
です」との報告がありました。

役員改選について竹内支部長から松下和正さ
ん（時 14）藤田和弘さん（時 15）堂本こすぎさ
ん（時 18）中西立美さん（時 23）4名の方の退
任と新しく山崎達彦さん（時習 15）就任の報告。
続いて活動報告と活動計画案が河合行朗事務局
長（時習 20）から、予算案は花井会計より提案
され、共に拍手をもって承認されました。



活動計画案は河合事務局長（左）
予算案は花井会計から提案される

○ 和やかな懇親会に酔いしれる

約 10 分間の休憩があり、第 2 部の懇親会が
始まりました。司会は鈴木優さんと阿久津詠美
さん（時習 30）です。河合事務局長が開会宣言
と恒例の時習館グッズ販売を紹介、売り場担当
は利根川躍さん（時習 21）です。松井誠一郎副
支部長（時習 27）の発声で乾杯が行われ、食事
と歓談時間のスタートです。アトラクションと
して時習館 17 回生弓道部の有志 3 名の方、山
村信哉さん、神藤裕一郎さん、平田正文さんに

よる謡(うたい)の披露。能楽5流派の中の宝生流(ほうしょうりゅう)を修練された方々で演目は「鞍馬天狗」でした。



鞍馬天狗

演者と配役

シテ(山伏 後に天狗)	山村 信哉
ワキ(東谷の僧)	神藤裕一郎
小方(牛若丸)・地頭(ジガシラ)	平田 正文

「謡曲」演者と配役および舞台風景

昨年の京都総会と同様に参加された方の近況報告が始まり、今年は若手からスタートしました。

福本さんの長女(当時小5)のスピーチ、皆さん顔負けでした。科学に大変興味をお持ちで、疑問に思ったことはすぐ質問される利発なお嬢さんです。例えば「台風の渦はどうして半時計回りですか」とか、「雷の発生する理由は」など。



福本さんのお嬢さんから素晴らしいスピーチ

若い方々が活躍されているご様子をお聞きし、年配の方とは異なる新鮮さを覚えました

校歌斉唱に移り、恒例の峯島望美さん(時習44)の音頭、尾野文香さん(時習56)のピアノ伴奏。壇上に竹内支部長、小池会長、寺田校長

が上がったの斉唱前体操タイム、和やかな笑いを誘いました。エンターテナー峯島さんの面目躍如です。

竹内支部長の飛び入り「オーソレミーオ」の熱唱は拍手喝采でした。

引き続き若手の音頭による万歳三唱は、お子さんも加わり、ほほえましい雰囲気の中で盛大に行われました。

閉会挨拶を米田隆子副支部長(時習21)から、次回の総会は2025年6月21日(土)に大阪倶楽部で開催するとの発表がありました。そこで再びお会いすることを約束し、閉会となりました。

○ ミニ観光

6名の有償ボランティアガイド付きの「ならまち散策コース」、むし暑さの中での決行でした。

15時に奈良ホテル前から出発、真言律宗 元興寺(飛鳥から平城京に移る歴史を語る古寺)、御霊神社、庚申堂、にぎわいの家を経て近鉄奈良駅にて解散。無事、第56回時習館同窓会関西支部総会・懇親会を終えることが出来ました。皆さんのご協力ありがとうございました。

○ 総会・懇親を終えて

2014年の奈良総会は100名近い参加者で、最も盛況でした。それを後押ししたのは、総会の前年、「もっと奈良を知ろう!」と題して計画したイベント「奈良まほろばツアー」でした。大神神社(宮司鈴木寛治氏)、石舞台、橿原考古学研究所を巡ったものです。今回もこれを踏襲。前年、秋の小旅行(2023年10月7日)を行い、大神神社・纏向遺跡・箸墓古墳を訪ねました。こうした準備段階での行事が盛り上げに一役買っています。

また本総会・懇親会で特筆すべきことは、若い方たちの増加です。世代交代の流れが生まれているのでしょうか。何年か経過し、歴史の目で検証した時、第56回奈良総会は節目の年だったと言われるかも知れません。そうなることを願っています。

総会への呼びかけ



淀屋橋

大阪経済の中心地「大阪倶楽部」で開催
～第57回時習館同窓会関西支部総会・懇親会に寄せて～



米田 隆子（時習 21）

○ 大阪の名建築が会場

大阪倶楽部会館（大阪市中央区）は、土佐堀川に架かる、大阪で最もよく知られ、親しみのある淀屋橋の南西に位置しています。名建築家安井武雄氏により設計され、大正13年（1924年）に完成。綿業会館、大阪ガスビルとともに、「大阪三大名建築」の一つに数えられています。

周辺はビジネス街の一角にありながら、ひととき重厚でエキゾチックな雰囲気を漂わせている、歴史的建造物が今回の会場です。

○ 「知の交流と心のふれあいの場」

大阪倶楽部は「知の交流と心のふれあいの場」として大阪で設立され、今もなお、親睦を通じて交誼を深め、学術・文化の活動を通じて、大阪を中心とした地域社会の発展に寄与しています。関東における、「東京倶楽部」「鹿鳴館」に対し、関西は「大阪倶楽部」、大阪の社交場として、大阪財界人の誇りです。

昔のままの「南欧スタイル」で東洋・中近東のモチーフを随所に取り入れたレトロ調の外観。



現在の大阪倶楽部会館正面

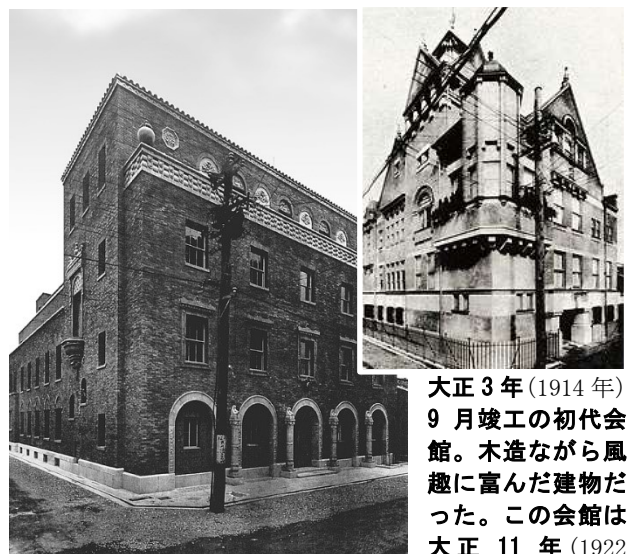
扉・梁・棚などすべてが木製で、深みのある色で統一されている館内、一度訪れれば、全てに心を奪われるに違いありません。

関西に在住したからには、必ず、足を踏み入れたいところ。是非この機会に堪能してみてください。

関西知識人、有名人が親睦の場として利用した「大阪倶楽部」の「人が集う」という上質な倶楽部ライフの一端を味わえることと思います。

○ 気楽に参加して下さい

2025年度の総会・懇親会は皆さんが集まりやすい大阪の中心地を選びました。この周辺は政治・経済・文化の中心地、ビジネスエリアですが、ビル街の中に、歴史的遺産が点在する落ち着いた場所です。「働く場所」ではなく、リアルなコミュニケーションができ、「付加価値を得られる場所」として変貌しつつあるビジネス街を眺めながら、足を運んでみてください。新たな人生の活力を得られるかと思えます。是非是非多くの方が参加されることを期待します。



大正13年（1924年）に竣工した当時の大阪倶楽部会館

大正3年（1914年）9月竣工の初代会館。木造ながら風趣に富んだ建物だった。この会館は大正11年（1922年）の出火で焼失した。

特別寄稿

母校、本部 からの便り



本部よりの報告



時習館同窓会の更なる発展に向けて

～本部、各支部の連携と協力の下～



時習館同窓会本部幹事長 木藤 政美（時習 31）

令和6年（2024年）度本部総会で同窓会本部幹事長に選出されました。微力ではありますが、本部役員の方やすべての同窓会員の皆様のご支援ご協力を賜り、任務を果たしていくつもりです。私は平成14年（2002年）度から平成26年（2014年）度まで母校時習館高校で勤務していたこともあり、多くの関西支部の方を存じ上げております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

今回の寄稿では以下のことについてご報告させていただきます。

- 1 本部役員組織の改革
- 2 時習館併設中学の建設
- 3 令和7年度本部・各支部総会の日程
- 4 令和7年度ホーム・カミングデー
- 5 各支部の抱える問題等

○ 本部役員組織を改革

現状の本部役員組織、校内幹事（時習館高校教員）との役割分担等に関していくつかの問題点があり、それを解消するために小池会長のリーダーシップの下、改革を進めていきます。

まず幹事・常任理事が多数名を連ねていますが、組織としてうまく機能していない点が挙げられます。今後校内幹事の人数が減少していくことが予想され、校内幹事が請け負っていた業務の一部を役員に移管する必要性が生じています。

幹事・常任理事の数を精選、役員＋幹事・常任理事＋校内幹事で委員会を組織し、役割分担を明確にして業務を遂行していく組織の構築を進めていきます。

○ 注目される時習館の中高一貫教育

令和8年（2026年）度の開校に向け、時習館高校の敷地内で時習館併設中学校の校舎ならびに体育館の建設が進められています。

時習館高校東門（愛知大学正面）からはんてん木並木を通り過ぎ、左手教育工学棟北側に校舎の建設、さらに奥に進んだ林間コート内に体育館の建設が行われています。現状では建設現場が白いフェンスで覆われていて写真での紹介はできませんが、説明会資料にあるイメージ図で、ご想像いただけたらと思います。



時習館併設中学校のイメージ図
（説明会資料より）

一部のはんてん木を伐採することにはなりますが、未来のチェンジ・メーカー（自分らしさの探究と創造・チャレンジ、一人一人異なる個性をもつ子どもたちの可能性を最大限引き出す学びの実現、誰もが社会の変革者となる学びの推進）の育成を目指す時習館の中高一貫教育が、三河地区で注目されています。

昨年の10月20日に行われた説明会には多数の生徒、保護者が参加されたとのこと。同窓会としてもできる支援を実行していきます。

○ 令和7年度本部・各支部総会の日程

令和7年(2025年)度の本部・各支部の総会は以下の日程で開催されます。詳細は各HP等でご確認ください。

本部・各支部総会スケジュール

- ◆本部総会等 令和7年5月11日(日)
於：時習館高校
- ◆関西支部 令和7年6月21日(土)
於：大阪倶楽部
- ◆名古屋支部 令和7年7月27日(日)
於：グランコート名古屋
- ◆西三河支部 令和7年8月24日(日)
於：岡崎ニューグランドホテル
- ◆東京支部 令和7年8月30日(土)
於：如水会館

多数の方のご参加を宜しくお願い申し上げます。

○ 令和7年度ホーム・カミングデー

令和6年(2024年)度よりスタートしたホーム・カミングデーが、今年度は以下の日程・内容で開催されます。ご都合のつく方は是非ともご参加ください。

- ◆日時：令和7年5月9日(金) 14時～16時10分
- ◆場所：時習館高校体育館
- ◆講演：講師 宮本亜希子氏(時52)
日本専門医機構認定産婦人科専門医
- ◆対象：全校生徒、教員、同窓会役員、27回生、52回生

○ Webで各支部の課題共有

コロナ禍以降、本部・各支部の役員等でズームによる情報交換会が適時開催されています。

各支部の活動内容の報告や抱える問題点等を共有することで、各支部の活性化に繋げる意図があると認識しております。その中で、話題になって

いる主なものは以下のとおりです。私見も含めて報告いたします。



本部・各支部 Web 情報交換会の一コマ
(令和6年5月26日)

◆各支部在住の方の情報入手(サラト※、本部・各支部及び校内幹事との連携を含む)が困難

同窓会名簿を見てわかるように、若い年代の方は時習館高校卒業時の実家の住所が記載されたままになっていて、特に大学卒業後、どこに居住しているのかほとんど知る術がないのが現状です。

個人情報の取り扱いには十分に留意し、今後時間をかけて、より良い方法を模索していきます。

※サラト：時習館同窓会が名簿作成を委託している会社

◆物価高による総会会費の高騰

東京支部は総会会場をホテルニューオータニから如水会館へ会場変更します。総会会費の高騰が参加者減少につながる事が判断材料となったようです。

◆若い年代が支部登録をしてくれない

若い年代の方は同学年や前後の学年の同窓生との繋がりはあるようですが、本部・支部の活動参加には消極的です。卒業25周年が近づき、名古屋支部や東京支部の総会に参加して年代を超えた交流に目覚める印象があります。

若い年代が魅力を感じられるようなイベントを企画するためにも、若い方の意見を吸い上げる仕組みづくりが必要と思われます。

◆各支部での総会以外の活動状況

時習亭、時遊亭、時習さろん、ゴルフコンペ、広報誌発行などのさまざまな活動を各支部で企画・運営し、会員同士の交流を深めておられることに対し、敬意と謝意を申し上げます。

時習館同窓会関西支部の活動の充実・発展と関係の皆様のご健勝・ご活躍をお祈り申し上げます。

母校よりの報告



「国際人としての資質」を培う姉妹校交流 ～英国、ドイツ、マレーシアの3カ国に計4校の姉妹校～



時習館高等学校教諭 清水 翼（時習57）

時習館同窓会関西支部の皆様には、本校の教育活動の充実に格別のお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。今回は、一般財団法人時習館同窓会教育基金にも多大なるご支援をいただいた令和6年度の姉妹校交流について報告いたします。

〇 姉妹校交流のあらまし

本校の姉妹校交流事業は、平成21年（2009年）度に時習11回生から、卒業50周年記念事業として「St. Paul's School（英国・ロンドン）との交換留学」を寄贈していただいたことに端を発します。この事業が大成功に終わった後の平成23年（2011年）1月、同校と姉妹校提携を結ぶに至りました。



その後、同年9月には同校の系列校である St. Paul's Girls' School（同上）と、また平成24年（2012年）11月には、先述のセント・ポールズ校の姉妹校である Otto-von-Taube Gymnasium（ドイツ・ミュンヘン）とそれぞれ姉妹校提携を結び、平成20年（2008年）度に指定された SSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）事業において、他校の生徒にも参加を呼びかける形で「日英独3カ国の高校生による合同研究発表会」を開催できました。



平成27年（2015年）度からは、国の SGH（スーパー・グローバル・ハイスクール^{※注}）にも指定され、アジア圏を意識した探究活動に新たに取り組むにあたり、アジアに姉妹校を持つ必要性が高まりました。豊橋技術科学大学の仲立ちで、平成30年（2018年）1月にマレーシア・ペナンにある Jit Sin High School と姉妹校提携を結びました。



これにより、3カ国に4つの姉妹校を有することになりました。この規模で姉妹校交流を行う公立普通科高校は全国的にみても稀有であるといえます。

※注 SGH への指定は令和元年（2019年）度まで。その後の3年間は県の AGH（あいちグローバルハイスクール）に指定。現在は「あいちリーディングスクール（英語をコミュニケーションの道具として高いレベルで使いこなす人材の育成を目指し、先進的英語教育の拠点となる高等学校）」の研究推進校に指定（～令和9年度）され、以下のような役割がある。

- ① SGH 及び AGH の実績を活かし、グローバルリーダーの育成、高度なカリキュラム開発を行う。
- ② 他校生徒を含め海外研修を実施する。
- ③ 研究の成果をイングリッシュフォーラムにおいて発表する。

< 研究開発にかかわる主な事業 >

- ・海外学習プログラム
- ・SSH 事業と連動して実施
- ・イングリッシュフォーラムへの参加
- ・英語力の向上（英語科の教科指導の中での取組）

○ 令和6年度の姉妹校交流

本校は4つの姉妹校と、同一年度内に受け入れと派遣の両方を行っています。このうち受け入れは、新型コロナウイルス感染症の影響で一次休止した後、令和5年（2023年）度にマレーシア及び英国の姉妹校からの受け入れを4年ぶりに再開しました。そして令和6年（2024年）10月、ドイツ姉妹校からの受け入れも5年ぶりに再開したことにより、ようやくコロナ禍以前の状況を取り戻すことができました。

マレーシアの姉妹校からの一団は、5月下旬、前年度の本校生徒が訪問した際にホームステイを受け入れてくれた生徒が来日しました。



マレーシア姉妹校生徒との和菓子づくり

英国とドイツの姉妹校からの一団は、現地の学校の中休みとなる10月中旬に来校しました。英国からは生徒8名と教員3名、ドイツからは生徒4名と教員1名、合わせて16名の訪問は令和元年度以来で、この人数の受け入れを経験している教職員は少なくなっていました。そのような状況の中、本校生徒・保護者及び教職員の理解と協力を得て、来日する全生徒・教員のホームステイ先を確保し、彼らが日本の学校生活を体験できるようなプログラムを構築しました。

この受け入れ事業は、来日する姉妹校生徒のみならず、本校生徒にとっても大きな学びの機会となっています。本校生徒の感想をご覧ください。



玄関に掲げた歓迎の旗



ジッ・シン・ハイスクール生徒との交流

現地での受け入れは大変手厚いもので、毎年、伝統文化の体験や現地の企業・大学での研修など、本校生徒の国際性を涵養するさまざまなプログラムを用意してくれます。本校としてもそれに応えるべく、令和6年（2024年）度は新たな試みとして、前年度に派遣された本校生徒が日本の伝統的な遊びを紹介し、共に和菓子づくりを行う体験型プログラムを設定しました。また小野喜明同窓会副会長からの御紹介により、豊橋市内に本社を構える切削加工企業である(株)豊国工業を共に訪問したほか、マレーシアからの留学生も多く在籍する豊橋技術科学大学の研究室訪問にも参加しました。

- ・英語が通じた時は今までの勉強が生きた感じがして、うれしかった。自分もいつか外国で、日本語以外の言語を使って現地の方と交流してみたい。（マレーシア）
- ・とても良い思い出ができた。同級生ぐらいの海外の生徒と話げたことで、留学を身近に感じられ、自分の視野が広がった気がする。（同）
- ・とても利発な方が多く、会話をするにあたっても多くサポートしてくれて、今後の英語学習の参考になった。（英国、ドイツ）
- ・関わったことのない文化に触れることができ、広い世界を目の当たりにした感じだった。外国に行きたいという気持ちが高まった。（同）

派遣については、令和5年（2023年）度に引き続きマレーシアと英国の2カ国への派遣を行いました。ドイツ研修については令和7年（2025年）6月に再開できる見込みであり、現在準備を進めています。

令和7年（2025年）1月に実施したマレーシア

研修と英国研修の現地での行程は、以下のとおりです。

【マレーシア研修】

13日(月)

在ペナン日本国総領事館

- ・総領事による講話と意見交換

USM (University of Science Malaysia)

- ・生物学に関する講義と実験

豊橋技術科学大学ペナン教育施設

14日(火)～16日(木) Jit Sin High School

- ・授業参加
- ・参加生徒による研究発表
- ・サイエンスワークショップ 等

17日(金) Vitrox 社 (半導体検査企業)

- ・講義、ワークショップ

【英国研修】

13日(月) St. Paul's School

14日(火) St. Paul's Girls' School

- ・授業参加 (午前4コマ、午後4コマ)
- ・参加生徒による研究発表

15日(水) UCL (University College London)

- ・日本人教授による講義と構内見学

16日(木)

Queen Mary University of London

- ・研究室見学、幹細胞研究に関する講義

在英国日本国大使館

- ・公使による講話と意見交換

他、ロンドン市内の博物館や美術館を訪問



英国姉妹校生徒を前にした研究発表

マレーシア研修と英国研修に参加できる生徒は共に8名ずつと限られていますが、彼らには本校の代表として、その成果を全校生徒に普及することが求められます。その一環として、3月に報告会を実施する予定です(本稿は3月上旬に執筆)。ここでは両研修に参加した生徒の感想を通して、皆様にその成果を報告します。

- ・以前は自分で積極的に何かをすることに恥じらひがあり、勇気を持てずにいたが、マレーシアの人々の陽気さや皆で仲良く楽しんでいる姿、全員で協力している姿を見て、自分の積極的な行動が皆の楽しみに繋がり、協力してくれると思うと自然と勇気が出てきた。(マレーシア)
- ・以前は英語での言い方が分からなかったらそこで諦めてしまっていたが、何とかして伝えようと、カタコトでも自分の知っている単語を交えながら伝えることができるようになった。諦めずに自分の意思を伝えられたら、コミュニケーションも図りやすくなった気がする。(同)
- ・物事を多方面から見る力が身についた。文化や考え方が違うからこそ、その違いを乗り越えるために、相手の立場に立って考えることをいつも以上に意識した。また、教養を身につけようとする姿勢も身についた。ホームステイ中にホストファミリーと世界の政治、国際問題、日本文学などさまざまな分野について会話をする際、自分の教養や知識の不足を強く感じた。今後は幅広く知識を身につけたい。(英国)
- ・こんな素晴らしい場所が世界にあるんだ!と実感させてくれる貴重な経験だった。自分にとっての「大好きな場所」を知ることは、安心感を与えてくれる。そんな発見のきっかけとして、この海外研修は大いにその役割を果たすものだと思う。また英国の高校や大学、大使館を訪れるという貴重な体験ができたのは、このプログラムならではのものだと思う。(同)

○ おわりに

本校の教育目標の一つに「国際人としての資質を持った人間を育成する」があります。社会のグローバル化が進む中で、本校生徒が姉妹校交流を通して身につけることができる「国際人としての資質」は、彼らが世界を視野に入れた歩みを進める上での大きな一助となるものと考えています。

本校のホームページにも姉妹校交流の報告を掲載していますので、是非ご覧ください。

今後とも、本校の姉妹校交流事業への皆様のご理解、ご協力を宜しくお願いいたします。

会員だより

活 躍



会員だより



同窓会に支えられた私の暮らし
～歳を重ねることは 老化ではない～



岩田 孝枝 (時習8)

豊橋から出たことの無い私が不安の中でスタートした関西。同窓会がどれほど支えになったか、その「関西支部の良さ」を皆さんにお伝えしたいと思います。

もうすぐ米寿を迎えます。

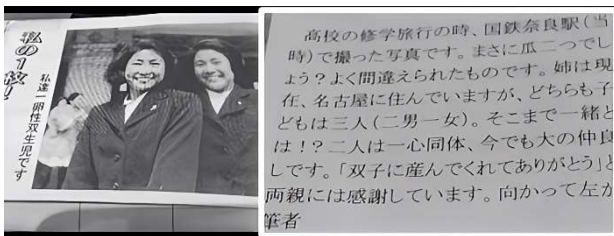
時習館を卒業してはや 70 年、平々凡々な生活とって思っていたが、今から考えると、それなりに懐かしい多くの思い出があります。

最も大きな転機が、結婚を機に、主人の勤務地近く枚方の香里団地に住む事になったことです。

当時はまだ、大阪は新幹線も無く、遠いところでした。

関西に来て最初に驚いたのは、やはり言葉の違いでした。最初『おおきに』や『ほんま』といった関西弁は耳慣れず、会話を気にしたものです。

その時 主人の友人でもあり、当時の関西支部の名誉支部長「朝日奈宗太」様に、公私共お世話になり、ご指導を頂き、どんなに心強かったか、感謝しています。当時、朝日奈さんの勧めで、何号であったか記憶にありませんが、『時習館かんさい』に私の一枚として写真を投稿しました。私にとって、最も印象に残っている懐かしい思い出の一つです。



私の自慢の宝『時習館かんさい』への投稿記録

その様な関係で関西支部があることは、知っていましたが、まだ、子供たちも小さかった事もあって出掛けられず、ましてや、私のような者が出る会ではないのではと…。

自分で勝手に決めておりました。その後、関西在住のクラスメイトから誘われ、迷いながら一緒

に出席してみました。会場に入った瞬間、懐かしい豊橋弁が聞こえ、一度に、心が解きほぐされました。何とも言えない嬉しさを感じたことを覚えています。その後、度々参加しているうちに、女性の会(JKL)があることも知りました。楽しい思い出も沢山残り、良い時代を過ごす事ができました。今考えると、私が関西での生活に慣れ、ここまで順調に生活を送ることができたのは、関西支部のお陰だと思っています。



平安神宮にて

現在は、外出をすることに時間を費やすことにしています。



サボテン公園にて

新しい場所を友と訪れ、語り合うことで、私の人生を常に新鮮で楽しいものにしてきています。毎日、外に出ることによって、新しい発見をし、頭脳の働きが自然に身につくよう心がけてきました。その効果か、米寿を迎える今、病気もほとんどなく、病院とは縁のない生活を送っています。心から皆さんに感謝しています。

これからも、友人や家族との時間を大切に、新しい出会いを楽しみながら、毎日を充実させていきたいと思ひます

いつまでも元気で長生きしたいものです。

会員だより



「つれづれ」なるままに ～「土いじり」に癒される日々～

花井 俊作（時習 17）



○ 新たな生きがいを見つけ

会社を退職後、介護施設で週6日働いていました。次第に年齢の近い利用者の方が入れられるようになり、体力も衰えてきたなど感じ、約10年勤めて退職しました。ただ西宮の山の会の会員は続けており、コロナ騒動の前ぐらいに、その仲間から三田市の農園での野菜づくりに誘われました。時間も空いたし農作業の知識ありませんが「週一回なら太陽の下で土に触れるのはおもしろそう。家にじっとしているよりも良いだろう」と仲間に入れてもらいました。

○ 無農薬で野菜づくりに挑戦

毎週火曜日、神戸東灘区住吉から山を越えて三田市まで車で1時間。東灘から何人かは農作業に



関わっている方が「山の会」の会員所有の畑おられ、その方たちに車に乗せていただき三田に行くようになりました。畑を所有している方は山の会の会員でした。無農薬で野菜を育てることを基本としており、それに賛同した山の会の人が無農薬で野菜をつくっています。畑も無償で使わせてもらいました。私が参加したときは畑の面積は40畝×30畝と40畝×10畝ぐらいでしょうか。野菜は、ただ肥料と水を与えさえすれば育て食べられると単純に思っており、知らないことばかりでした。もちろん農家の人たちの苦労は報道番組等で知ってはいるつもりでしたが、あまり深く

は考えてはいませんでした。

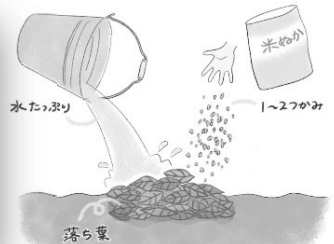
野菜はそれぞれ属する「科」があり、同じ科のもの連作は避けた方が良いという初歩的なことも教えてもらいました。使用している畑も広がったので年ごとに植える場所を変えることはそれほど問題なく、連作障害の起きないように植えていきました。野菜づくりに参加した年はすでに一部ができかけていました。私はジャガイモや薬物野菜の収穫に参加し、取り立ての野菜をいただいは帰っていました。

○ 何度も何度も鍬入れ

畑仕事はまず土作りから。畑に鍬を入れて耕します。肉牛を飼育している農家から牛糞を買い、畑に撒いて耕します。腐葉土も自分たちで作り、撒いて耕します。



鍬で耕す



手作り腐葉土

何度も何度も鍬を入れて十分に耕します。仲間に入れていただいたころは中古の小型耕運機（1人用）があり、それを使っていました。簡単なようで扱いが難しかったので、もっぱら鍬を使っていました。



倉庫で眠っている耕運機

○ 種から芽が出て双葉に

温かくなる前にホームセンターでその年につくる野菜の種を購入。前年に収穫した野菜の種も採取して使います。ポットに



待ち望んだ双葉

種を植えて水をやり、寒さに耐えられるようにシートを被します。私は週一回しか農園に行かないので後は複数回行かれる方にお任せです。本当は常に見回る必要があるのですが…。

複数個の種を撒いたポットから双葉が出てきます。勢いの良いのを残し間引きをして生長するまで待ちます。それまでに畑を耕して土を軟らかくし、畝を作っておきます。



畝作り

苗が育って畑に移し植える時、十分な間隔を空けると苗が余ってしまいます。もったいないという気持ちで、詰めて植えてしまうとあまり大きく育たないことになってしまいます。

○ グループ内で分担する野菜づくり

グループではつくる作物をそれぞれが決めて、責任分担の格好で野菜を育てました。私の初めての分担はカボチャ。種を買いに行った時は種の袋の絵を見て「これはおいしそうだ」という単純な発想で決めてしまいましたが、教えてもらったのは袋の裏側に記載してある種の由来、有効期限、発芽率、蒔き時期、農薬を使っているかどうかを確認することでした。カボチャを植える所は1畝の円を作り、周りを堀のようにして真ん中を盛り上げ、そこに発芽し生長して大きくなった若葉を植えるようにしました。これはグループのリーダーに指導を受けました。苗の周りに行灯状に棒を組み、カボチャを空中でつくるやり方です。苗が十分育つまでは寒さ対策としてビニールで若葉を覆っていました。葉っぱが繁るまではとても長く感じられましたが、行灯を這い上って行き始

めたら葉っぱも繁り始めました。ところが、そのころ葉っぱが白くなり始め、うどん粉病に感染していると言われました。



かぼちゃのうどん粉病

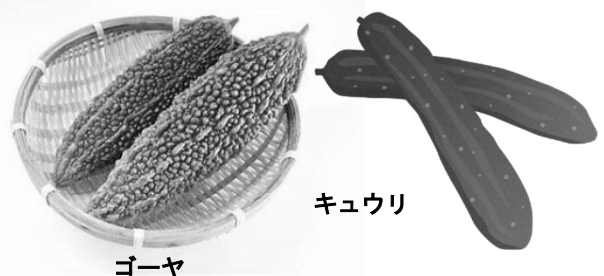
その対策も担当が対処しなければなりません。ネットで調べて有機野菜用の農薬を選定して散布しました。リーダーから「無農薬栽培の基本から外れている」と指摘されました。有機農業で使われているから大丈夫と思っていたのですが、あくまで無農薬にこだわることにに対して甘く考えていました。結果としてこの年のカボチャは、あまり出来ませんでした。前の年は豊作だったようで皆さんの期待を果たせなくて申し訳なかったです。



分担して野菜を育てている

○ キュウリにゴーヤ、スイカを担当

翌年はキュウリとゴーヤの担当。キュウリは間隔を大きく空けて植えましたが、葉が繁り実を付け出したらどんどん出来ます。週一回しか見てないので前の週に見落とすとお化けキュウリが葉の陰から見えます。畑に行くたびにキュウリ、ゴーヤを皆で分けて持ち帰りました。



キュウリ

ゴーヤ

その次の年はスイカの担当。結果、これは大成功？種からでなく自宅の近くのホームセンターで時期が遅かったのか売れ残りの小玉スイカの苗を4株買って植えました。本を見ながら摘心はどうしたらよいかなど見ながら、スイカが膨らみ始めたら籠をかぶせ、鹿などに食べられないよう心がけました。農園に行くのが楽しみでした。

花が付いてから54日目食べごろと本には書いていましたが、週一回農園に行くだけだから、いつ花が付いたのか分かりません。スーパーで見る小玉スイカと同じくらいの大きさに育ったスイカをたたいてみたら、昔たたいた時と同じ全体に響く感じがしました。



実割れスイカ

一つ切ってみると見事な赤い実の黒スイカ。甘くて水分も豊富。グループ皆で満足満足。

この時は合計で14個実り、皆で持ち帰りました。

昨年もスイカの担当。柳の下の二匹目のドジョウを狙いましたが、結果は芳しくありませんでした。葉っぱばかり繁って実は大きくなり数も少なかったです。実が割れていたのもありました。苗は前の時より元気そうなのを選んだのに…。昨夏、暑すぎたのが一因とお天道様に責任を振っています。

自分で野菜を作り始めるとスーパーでみる野菜のなんと綺麗なことか。無農薬栽培の葉物は虫に食われて穴だらけ。でも取れたての野菜は柔らかくておいしいですよ。

○ 土に触れながら、ふと未来を想う

土に触れると本当に癒やされる感じがします。農作業をしながらふとウクライナのことが頭に浮かんできました。祖国防衛で農作業どころではないかも知れませんが、食糧は自給しなければならぬはず。しかし農地にはおびただしい地雷が埋まっているという話を聞きます。どうしているのでしょうか。遠くからですが、気がかりです。



お騒がせ
トランプとプーチン

火の鳥

手塚治虫の『火の鳥』で「技術がどんどん進化して国を司るのがコンピューターとなって東の大国のコンピューターと西の大国のコンピューターが争いを始める。核兵器を使い地球上の生物がいったん消滅。恐ろしく永い時間のあと再び人間が現われる」となっていますが、他人の意見を全く無視する東西のコンピューターはプーチンとトランプに見えてきます。またイーロン・マスクの影も。

「自分たちが作った下僕のはずの機械が進化し、人類は狂人に操られ、やがて滅ぼされる」。こんなSF漫画の世界が現実になるのでは…。そんな不安を抱く日が差し迫っているのでしょうか。

素朴な土いじりに心癒される日々が大変贅沢なことに見えてきます。

もうすぐ日暮れ。

西の空は夕焼けに染まっていますが、この色が戦火の拡大を意味していないことを願わずにはいられません。



帰宅

今日も日暮れが美しい

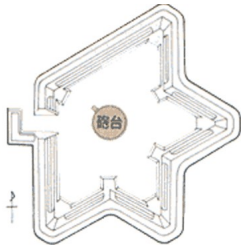
今日も穏やかな一日が過ぎました。農機具を片付け帰ることにします。

世の中はあまりにも目まぐるしく変わっていますが、この畑は明日も変わらず優しく微笑みかけ、私を迎えてくれるはずです。



作業小屋

会員だより



和田岬星形土塁

幕末の徒花・和田岬砲台

幕府瓦解、開港で実戦経験せず



熊谷 信哉（時習 18）

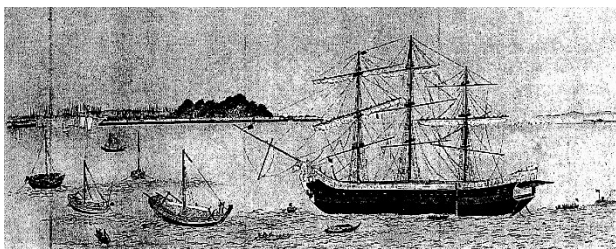
三菱重工業神戸造船所（神戸市兵庫区）構内にひっそりと佇む和田岬砲台。幕末、黒船来航などで海防意識が高まる中、巨額の資金と最新の技術を投入して造られたが、幕府消滅直後にやってくる開港で大砲を据えることはついになかった。幕末から明治維新に至る時代の徒花に終わった和田岬砲台。地元神戸でも、ふだんあまり話題になることはないが、過日「神戸歴史文化研究会」の仲間と行った見学記をご紹介します。

※江戸湾で砲台築造当時の呼称は「台場」が一般的だったが、和田岬、湊川、西宮、今津は「砲台」に統一する。

○ 異国船の接近相次ぎ幕府が祖法変更

約 270 年続いた徳川幕府の軍事的な基本方針は国内から陸路を攻め上がってくる敵をどう迎え撃つかだった。海上からの脅威という点には全く無関心で、いくら前向きな献策書が出されても家康以来の祖法を改める気は皆無だった。

ところが 18 世紀半ば以降、日本沿岸に異国船の接近が相次ぎ、アヘン戦争で中国がイギリスに敗北したとの報に接すると異国船打払令を撤回、全国の海防体制の見直しを計った。



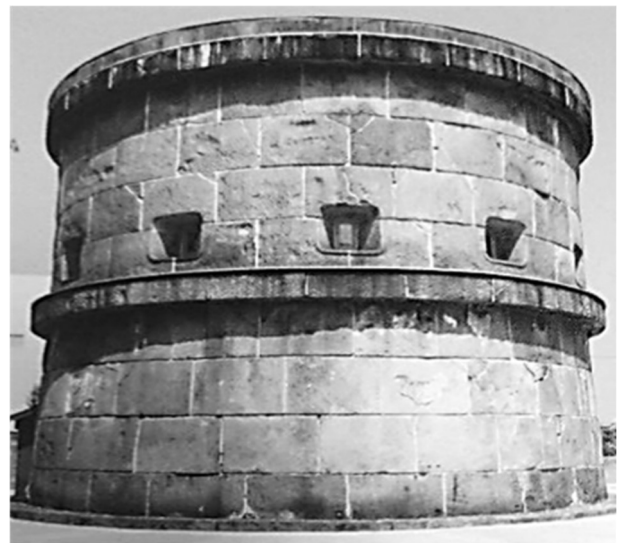
ロシア軍艦進入の図。1854年（安政元年）大阪・天保山沖に突然現れた

ロシア船が大阪湾深く侵入、天皇がいる京都が脅かされ、幕府は、これまでの幼稚な砲台では役に立たないことも悟った。

幕末、全国各地に築かれた砲台・城塞は 1000 カ所を超えた。大阪湾岸や京都に至る淀川筋には、その 1 割を超える 100 基以上の砲台が築かれた。しかも、その築造期間はペリー来航から明治維新までのわずか 10 数年間だった。

○ 御台場の流れ汲む洋式砲台

江戸時代末期から築造が行われ城塞は従来の和式城郭とは一線を画した防御施設だった。幕末の 1863（文久 3 年）から 1866（慶応 2 年）にかけて大阪湾防備のため兵庫から西宮の海岸に和田岬、湊川、西宮、今津の 4 砲台が築造された。



三菱重工神戸造船所内で保存される和田岬砲台。国内で唯一、築造当時の面影を残している

これらは江戸湾・御台場、函館・五稜郭の流れ汲む洋式のものだった。砲台築造は 1864（元

治元年)、勝海舟が神戸に開設する海軍操練所と一体となって行われた。

和田岬、湊川、西宮、今津の各砲台は中央に円筒形の石堡塔(せきほう・世界の軍事史上、マルテロタワーと呼ばれる)を据え、その周囲には、それぞれ70㍍～120㍍に及ぶ星稜形、または円形の外郭(土塁台場)を配し、国内では見慣れなかった特異な形をしている。防御範囲が360°であることから海側だけでなく、陸側にも対応した構造。内戦も想定していた。

日本ではこの4カ所しか造られていない。世界でも最後期の石堡塔として極めて貴重な存在とされている。設計には長崎の出島を通じてオランダから輸入された軍事関係書からヒントを得たとされる。

○ 和田岬砲台

工事期間：1年3カ月

(1863・文久3年5月～1864・元治元年8月)

形 状：直径14.5㍍～15.2㍍

高さ約11㍍

建 造 費：石堡塔1基で2万両

(約60億円、換算比率については異説があります)

昭和の大改修：1926(大正15年)10月

～1927(昭和2年)1月

平成の大改修：2009(平成21年)12月1日

～2013(平成25年)3月31日

和田岬砲台の地上の石堡塔は堂々たるものだが、地下の见えない構造も素晴らしかった。地盤沈下を防ぐために1000本以上の松杭(長さ27㍍～54㍍)を打ち込んでいる。

内部は木造二階建てで、一階の半分は土間、残りは弾薬庫。二階周囲の石造部分には窓1カ所と11カ所の砲眼が開けられている。

石堡塔の外郭土塁(星形)は兵庫町方が請け負った。大正初期までには削り取られて消滅。和田岬、湊川、西宮、今津の各砲台の中でひときわ大きな規模を誇った。

4砲台は明治5年に陸軍省に移管、陸軍省は

直ちに売却しようとするが、兵庫県令・神田孝平が「祝砲台として利用すべきだ」と建議したことで歴史を語り継ぐ証言者として生き残ることになった。

砲台完成直後に幕府が瓦解、兵庫が開港されたため大砲が設置されたことはない。ただ西南戦争では官軍の弾薬集積場として一時使用された。



和田岬砲台の内部。大砲の発射後、この井戸から水を汲み上げ砲身を冷やす予定だった

【参考図書】

『国別 城郭・陣屋・要害台場事典』西ヶ谷恭弘編 東京堂出版、2002

『日本の要塞 忘れられた帝国の城塞』学習研究社、2004

『幕末の巨大プロジェクト 大阪湾防備と和田岬砲台』神戸市兵庫区役所、2008

『品川御台場築造から和田岬砲台へ』神戸市兵庫区役所、2010

『明治期における和田岬砲台』神戸市兵庫区役所、2011

『史跡 和田岬砲台』三菱重工業(株)神戸造船所、2014

『石材加工からみた和田岬砲台の築造』神戸市兵庫区役所、2015

『幕末の大阪湾と台場 海防に沸き立つ列島社会』後藤敦史、高久智広、中西裕樹編 戎光祥出版、2018

『和田岬砲台史跡指定100年記念 大阪湾の防備と台場展』神戸市立博物館、2021

会員だより



ブラジル移民船「笠戸丸」

信頼できる日本人・日系人 ブラジル移民に想う

熊谷 信哉 (時習 18)

「銀ブラ」の意味をご存じだろうか？ 多くの人は「デートで恋人と腕を組み、ウインドウ・ショッピングを楽しみながら銀座をブラブラ歩きする」光景を思い浮かべられたのでは？ とところが「銀座の『カフェパウリスタ』でブラジル・コーヒーを飲むこと」という説もあなどれない。外務省、新聞社、テレビ、ネットも巻き込んで“国民的”議論になっており、本当のことは、なかなか分かりづらい。

神戸はコーヒーとの関わりが深い土地柄。明治期に神戸港へ豆が輸入され、日本茶の「芳香堂」が国内で初めてコーヒーを提供したとされる。「コーヒーを楽しむ文化」は神戸のみならず日本の社会にしっかり根を下ろし、私もその恩恵に浴している一人だ。

○ 移住坂

J R元町駅を海側に降りるとモダンな交番がある（六甲山と瀬戸内海に囲まれ細長い神戸で市民は海側、山側という言い方をしている）。



ブラジルの教会をイメージした元町交番

八角形の建物の屋根は赤色。塔にはステンドグラスがはめ込まれている。平成14年(2002年)、ブラジルの教会をイメージしたデザインに一新

された。交番の前には「FROM KOBE TO THE WORLD」と記されたモニュメントもある。

交番のすぐ東を走るのが鯉川筋。明治初期に神戸が開港され外国人居留地が形成されたが、その西端に当たる（外国人居留地の東端は旧生田川・現在のフラワーロード）。メリケンパークから六甲山の方に向かって約20分歩くと「海外移住と文化の交流センター」にたどり着く。約600人収容できるビルの内部は長い船旅に備えて船内を模した構造だ。



海外移住と文化の交流センター外景



海外移住と文化の交流センターの前に咲くブラジル国花イペー（白、紫、ピンク、黄色があるが、国花になっているのは黄色い花のみ）

ブラジルへ渡る移民たちはここで1週間～10日間滞在、各種講話と予防接種に明け暮れる。滞在費は無料。準備を整えた後、海の方に向かって坂道を降り、移民船に乗り込み、1カ月以上かかってブラジルに到着した。近年、鯉川筋と、これに続くメリケンロードは元芦屋大学教授・楠本利夫氏ら研究者によって「移住坂」と呼ばれ、神戸っ子にも定着してきた。

○ 収容所での暮らし



乗船前の購入必需品
ドラム缶と炭火アイロン

収容所に落ち着くと移民たちは近所の商店で移住に必要なものを購入する。「現地にはなく乗船する前の購入必需品」と言われたものにドラム缶と炭火アイロンがあった。「一体、何に使うと思います？」と日伯協会移住ミュージアムの専門調査員。さっぱり見当がつかない。頭をひねっていると「ドラム缶には出発前に買い求めた農具や衣類を詰め、ブラジルに着いたらお風呂として使います。炭火アイロンは本来の使用法でなく、服に蟬集して来る虫を焼き殺すため」と教えられ、びっくりした。

○ 契約移民

かつて日本には神戸、横浜、長崎の3カ所に契約移民を送り出す国立の移民収容センターがあったが、現在は神戸に「日伯協会移住ミュージアム」として国内で1カ所が残るだけ。ブラジルの日系人のルーツとも言えるこの場所でブラジル移民の歩んだ道と、愛知県との意外なつながりも探った。

何らかの事情で根を張って生活してきた母国で家財一切を売り払い、未知の遠い外国に第2の人生を求める契約移民。故国を離れて新天地を目指したのはどんな人たちだったのだろう。「貧しい農民が多いというイメージを持たれがちですが、軍人や警察官、大工などいろんな職業の人がいました」。ミュージアムを運営する日伯協会は説明する。移民した後の彼らの踏ん張りぶりを聞き、完全に脱帽した。

「一九三〇年三月八日。神戸港は雨である。細々と烟（けぶ）る春雨である。…三ノ宮

駅から山ノ手に向う赤土の坂道はどろどろのぬかるみ…この道が丘に突き当たって行き詰ったところに黄色い無装飾の大きなビルディングが建っている。…是が『国立海外移民収容所』である」。石川達三は小説『蒼氓』（そうぼう）の冒頭でこう書いている。

国内産業が未発達で過剰人口対策も兼ねていた契約移民。政府の奨励策で神戸の高台に「国立神戸移民収容所」が昭和3年（1928）に開設された。当時、政府部内でも「口減らし」「棄民」という言葉が囁かれたほどで、移民収容所での日々と“夢の国”ブラジルでの生活さえも暗喩するかのような冒頭で始まる。

○ 現代にも残っているか？ 日本人の美質



ブラジル移住 50周年を記念する切手も発行された（1958年6月18日）

地球儀で日本の位置から地球の中心を通る長い針を突き刺すと、ちょうど地球の反対側・ブラジルの南部に顔を出す。

日本人移民は『蒼氓』にあるように移民船で苦勞してブラジルに到着。現地で密林を安く買い取り、苦難の開拓の末に少しずつ農地を造っていった。大木の切り株や痩せた土地。とても農地には向かなかったが、根気よく少しずつ切り開き、土壌改良と品種改良で野菜を栽培できるようになった。

アマゾンの奥地で一人で暮らす日本人移民・草野恒雄さんの自宅を上空から見ると周囲は鬱蒼とした密林で、その真ん中にぽっかりと平地が開けていた。（2023年5月1日、7ch）

移民は自立するため、こつこつと資金を貯めた。母国からさまざまな野菜の種を取り寄せ、工夫して器用に育て上げた。野菜などの“行商”が商売のきっかけになり、信頼にもつながった。

言葉が満足に通じない異国で誠実な仕事を積み重ねた。日本人の生真面目さと創意工夫が彼らを助けることになり、現地で受け入れられ政財界の中枢部に上り詰めた日系人も多い。

平成9年（1997）に当時の天皇夫妻（現・上皇夫妻）がブラジルを訪れた時、ブラジル政府高官から「ニッポンからの移民は日本国がブラジル国に与えてくれた最大のプレゼント」という最大級の賛辞をもらった。「ジャポネース・ガランチード」という言葉を耳にする。今でこそ「信頼できる日本人・日系人」という意味で使われているが、移民が活動しだした当初は日本人を蔑視して見下す表現だった。

コーヒーの普及に貢献したのが興國殖民会社の水野龍（りょう）だ。最初の移民船の団長を務めたことで、ブラジル政府から無償でコーヒー豆の提供を受けた。この豆を使って「カフェーパウリスタ」を設立、店は全国に広がった。

こうした日本人の頑張りぶりを聞いて思い出した話がある。畏友の寫 信彦氏が出版された『日本兵捕虜はシルクロードにオペラハウスを建てた』 角川書店（2015年出版）のエピソードである。ソ連四大劇場の一つとされたオペラハウス・ナボイ劇場は終戦後、抑留されていた若き日本兵たちが建てた。ウズベキスタンの誇りとなっている壮麗な劇場で、大地震にも耐えた堅牢な造り、美しい内装で、日本兵捕虜の誇りと意地をかけた仕事は収容所長を初め、現地の人々の心を動かし、語り継がれ、日本人伝説となっているという。

契約移民と旧ソ連抑留中の日本兵のエピソード。背景は随分違うがどちらも日本人が持っていた美質を伝えている。現在の日本人の中にこうした美質が残っているだろうか？ ふと思ってしまう。

○ 愛知県のブラジル村

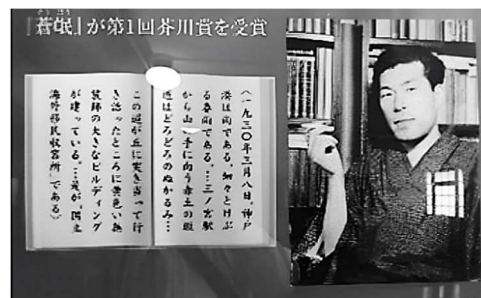
明治41年（1908）4月28日、781人を乗せたブラジル移民船「笠戸丸」が神戸港を出港。移民事業は昭和41年（1966）に廃止されるまで60年近く続き、神戸から約25万人がブラジ

ルに渡った。世界中で日系人は約400万人と言われ、その半分がブラジルにいる。

その後、時は移り少子高齢化による働き手不足を補おうと外国人労働者の受け入れが盛んに行われるようになった。兵庫県内のブラジル人は約2500人だが、出稼ぎ労働者が多い愛知県には約6万1000人が滞在している。トヨタ自動車や三菱自動車と関連会社、下請け企業群などが働き手として日系3世を招いた。豊田、豊橋、小牧、知立、名古屋などに、いわゆる「ブラジル村」が形成された。豊田市周辺には数多くの社宅があり、近くの小学校では、日本の子どもたちより日系人の子弟の方が多く出陣、ポルトガル語の堪能な助っ人が求められている。

彼らが父祖らのルーツを求めて「海外移住と文化の交流センター」に見学に来て来るが、その数は全体の見学者の実に5分の1以上を占めるという。はるか1万6000^{キロ}も離れたブラジルと愛知県に意外な接点があることになる。彼らと共生社会を築くことが必要だが、単なる労働力というだけでなく同じ生活者として向き合うことが大切だと思う。

○ 石川達三と『蒼氓』



石川達三と『蒼氓』冒頭

当時の移民たちの様子や心情を詳しく知ってみたいという方は石川達三の『蒼氓』（既述）を読まれることをお勧めする。彼は昭和5年（1930）、この国立移民収容所に入所し、移民船「らぶらた丸」でブラジルに渡り、6カ月間の移民体験をした。この体験を通しての作品が『蒼氓』である。作品は昭和10年（1935）に第1回芥川賞を受賞、石川達三はこれで文壇にデビューした。

会員だより



歩兵第229連隊が南方で喘いだ病魔と飢餓

～近現代史、三河が直面した苦難の出来事（その2）～



東京支部・関西支部 前田充康（時習 18）

豊橋公園には、歩兵第18連隊の記念碑に加えて歩兵第229連隊と歩兵第118連隊の二つの歩兵連隊の記念碑が建立されています。

今回は第229連隊についてお話ししたいと思います。歩兵第229連隊は太平洋戦争が始まる少し前の1939年（昭和14年）に豊橋で編成されて南方戦線に向かい、マラリヤ等による病魔、飢餓等の劣悪な環境下、ジャングルの中で孤立し多くの将兵が最後の突撃を繰り返しました。



歩兵第229連隊記念碑

豊橋公園の右側の湾曲した小道をたどっていくと三つの石を積み重ねた特徴のある石造物が目に入ります。それが歩兵第229連隊の記念碑です。

○ 歩兵第229連隊碑文

一番上に連隊名、真ん中には碑文、一番下には年表とわかりやすく記されています。碑文には、つぎの通り刻まれています。

「歩兵第229連隊は、昭和14年5月7日この地に於陸軍大佐吉武秀人を初代連隊長として編成完了。9月13日軍旗を授かり、10月13日豊橋を出発、征途についた。

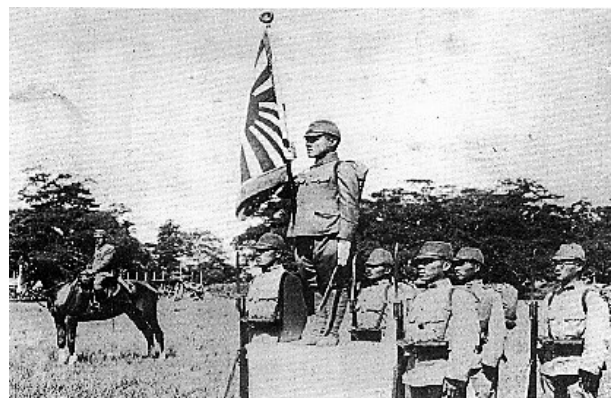
以後、泥濘の良口会戦をはじめとする南支那における作戦・警備の後、第2代連隊長陸軍大佐田中良三郎統率下の香港攻略戦に始まり、南部スマトラ作戦、ガダルカナル島の戦を含むニューギニア作戦、さらに陸軍大佐平田源次郎を第3代連隊長とするムンダ、スンナン、ラバウルなどを戦場としたソロモン及びビスマルク群島防衛戦から第

5次ビスマルク戦に至るまで、大東亜戦争における最も画期的な作戦に参加した。かくて戦局不利とはいえ志気未だ軒昂たるうちに終戦を迎え、昭和20年8月18日ニューブリテン島ラバウルにおいて連隊長以下慟哭裡に光輝ある歴戦の軍旗を奉焼し、一塊の灰と化せしめた。連隊生存者一同は、この灰をいま連隊発祥の地に埋め、英霊の安からんこと、足跡のとこしえならんことを祈念するものである。

昭和45年9月15日 元歩兵第229連隊戦友会（福々会）之を建立す」

○ 参加した作戦

歩兵第229連隊は、上記記念碑の説明にある通り、1939年（昭和14年）8月17日に豊橋の地で連隊の編成を完結し、同年9月13日に軍旗拝受。その後、時を移さず1カ月後の10月13日には、連隊発祥の地である豊橋を出発し直ちに中国大陸南部の戦地に向かいました

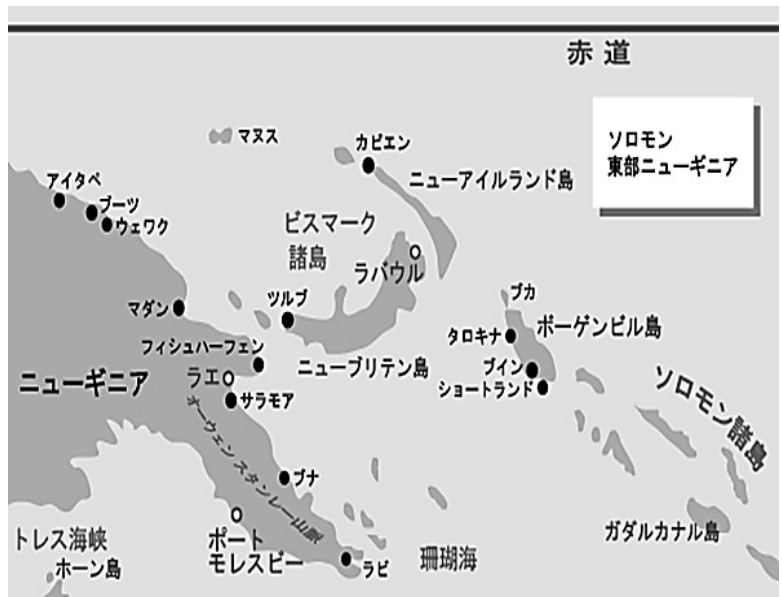
歩兵第229連隊軍旗拝受式
(1939年9月13日、於豊橋八町練兵場)

中国南部に到着後、10月22日より中国の広東省等の警備につき、翌年の5月11日から6月12日まで良口会戦に参加。1941年（昭和16年）12

月8日に太平洋戦争が始まるとともに①香港攻略戦②南部スマトラ作戦③ガダルカナル島の戦いを含むニューギニア作戦④ラバウルを戦場とするソロモン・ビスマルク群島の防衛戦等に立て続けに参戦しました。

太平洋戦争の勃発とともに始まった香港攻略戦は、1941年12月8日から29日まで参戦し、戦死者約280名、戦傷者約800名を出すも、香港攻略の任務を完遂。

その後、引き続き南方戦線に向かい、1942年（昭和17年）1月20日から3月11日までスマトラ島のバレンバンに上陸を含む南部スマトラ作戦に参加。戦死者約40名、戦傷者約100名を出すも、南部スマトラ作戦も任務を完遂しました。



ソロモン諸島と東部ニューギニアの地形 (Microsoft Bing より)



日本軍の南方進出の状況図 (1942年) (Microsoft Bing より)

○ サイパン、グアム陥落

絶対国防圏確保の観点からニューブリテン島のラバウルが陸軍、海軍の要の位置づけでしたが、サイパン島、グアム島がアメリカ軍に奪われてから、第229連隊が参加している南方戦線は、日本本国からの支援体制に頼ることが次第に難しくなり、連合軍に取り囲まれて、唯消耗戦を行っていただく状況に追い込まれていきました。

○ 病魔と飢餓との戦い

1942年（昭和17年）11月6日から1943年（昭和18年）4月3日までニューギニア島の Buna、ガダルカナル島、ムンタ地域の戦いを含むニューギニア作戦に勇猛果敢に参加。しかし、このころになると、日本軍の当初の勢いは陰りを見せるようになってきました。ラバウルの日本軍の優位性も後退し、制空権を奪われて海上輸送も爆撃を受けたりして軍事的に防戦に回る段階に入りました。軍隊の生活面でも、食料等の補給が滞って、原則、現地自活で調達を図るなど、極端な食料不足に陥り、飢餓との戦いも重要な課題となります。マラリアや赤痢、天然痘などの病気に罹患したり、栄養失調、飢餓で死亡する数が激増してきました。

○ ズンゲンの悲劇 さらばラバウル

そうした中、1944年（昭和19年）にニューブリテン島のラバウルの南部に位置するズンゲンにおける前線で突撃による集団自決が起こり、玉砕の在り方が後で問題となりました。極限状態で追い詰められた軍隊がなぜ無謀な突撃、玉砕をすることとなったのでしょうか。「生きて虜囚の辱めを受けず」との戦陣訓が突撃、玉砕以外の道を許さなかったのか等の日本軍の在り方が根本的に問われたものでした。

この顛末については、当時、二等兵として現場にいた漫画家の水木しげるさんが描いた「総員玉砕せよ！」（1995年講談社）に詳しく記述されて

います。なおNHKテレビの朝ドラとして「ゲゲゲの女房」(2010年上半期)が放映されましたが、水木しげるさんのニューギニアでの従軍当時のさまざまな様子が数多く紹介されていました。

○ 戦況悪化、昭和18年以降、昭和20年までの状況

昭和18年以降、昭和20年の終戦に至るまでの第229連隊をめぐる戦況については、国立公文書館アジア歴史資料センター所蔵の『歩兵第229連隊行動概要』(防衛省防衛研究所)は、次の通り記述しています。

【昭和18年1月以降『ニュージョジヤ』島防衛部隊長太田海軍少将の指揮に入る。昭和18年2月1日『ガ』島(※ガタルカナル島)より『ボ』島(※ボーゲンビル島)に転進せる聯隊本部歩兵2中隊は転進後専ら戦力の回復を図ると共に、「ニュージョジヤ」島前進を準備。4月6日「ニュージョジヤ」島に前進す。4月19日聯隊長田中良三郎大佐転出。新聯隊長平田源次郎大佐6月1日着任。6月中旬附東支隊「ムンダ」に前進。支隊長佐々木少将の指揮下に入る】

アメリカ軍を主体とする連合軍が総攻撃をかけてきた1943年(昭和18年)6月30日のソロモン群島、ビスマルク群島での戦闘に関しては、次の通り、記述されています。

【第2次ソロモン戦及びニュージョジヤ戦】(昭和18年6月30日から9月30日まで。戦死者 約1300人、戦傷者 約1700人)

6月30日未明米軍(約2ヶ師半)は「ソロモン」群島「レンドバ」島に上陸。次いで6月7日「ニュージョジヤ」島「ムンダ」に上陸し来たり。聯隊長は「ムンダ」地区に於いて警備に任じありし聯隊主力及び「コロンバンカラ」島防備に任じありたる歩兵第229大隊(第3大隊)を復帰せしめられ聯隊全力(兵力約3000)を以て敷陣す。8月8日「バンカ」島に前進。8月21日「アルンデル」島に転進。8月27日「コロンバンカラ」島に転進。9月29日「コロンバンカラ」島出発。「ラバウル」に転進。9月30日「ココボ」上陸。

【第2次ビスマルク戦】(昭和18年10月1日～昭和19年3月24日)

「ニュージョジヤ」作戦後の聯隊再編整備を図る

と共に「ココボ」附近警備に任ず。

昭和19年1月30日第1大隊(大隊長馬場少佐の指揮する343名)を「アドミラルティ」諸島に派遣するも2月29日米軍の上陸を見以て激戦を重ねたるが如きも5月末通信全く杜絶し現在に至るも詳細は不明なり。

【第3次ビスマルク戦】(昭和19年3月25日～10月31日)

5月末聯隊は師団予備隊となり「トペラ」地区に移駐。警備陣地構築並びに現地自活に任ずると共に作戦準備に邁進す。10月5日第一大隊の一部(大隊長成瀬少佐の指揮する250名)を「ズンゲン」に派遣警備に任ぜるも昭和20年3月初旬より豪州軍の進出を見、相當の損害を受けたり。

【第4次ビスマルク戦】(昭和19年11月1日～昭和20年4月15日)

依然師団予備隊として「トペラ」地区に在りて警備に陣地構築並びに現地自活に任ずると共に作戦警備に邁進す。

【第5次ビスマルク戦】(昭和20年4月16日～8月15日)

依然師団予備隊として「トペラ」地区に在りて警備陣地構築並びに現地自活に任ずると共に作戦準備に邁進す。

○ 玉音放送、終戦

歩兵第229連隊は、以上『歩兵第229連隊行動概要』のごとく、南方戦線で艱難辛苦の戦いを繰り広げるも、時の大勢はいかんともし難く、1945年(昭和20年)軍旗を奉焼し、全員切り込み玉砕を覚悟するところまで戦況は追い詰められてきました。そうした緊迫した状況下、突如、8月15日、日本本土で天皇陛下の玉音放送が流れてポツダム宣言を受諾し無条件降伏。大本营より戦闘中止命令が下されたことから、歩兵第229連隊は、連隊内部の多くの部隊がすでに敵の攻撃や最後の斬り込みなどで無念の玉砕となっていました。ラバウルの残存する第229連隊本部も将兵は戦闘を中止。同時に第229連隊は、創設以来約6年にわたる歴史の幕を閉じることとなりました。

(40号につづく)

会員だより



タイの音楽とライブチヒの音楽

～「コンサート」で英気を養った海外生活～

白井 謙二（時習 26）



○ 化学会社で 40 余年勤務

2024年5月12日に卒業50周年記念の会合に参加、450名中123名が姿を見せました。物故者36名（8%）には心が痛みます。

1980年4月に化学会社に就職し、2020年8月、40年4カ月間働いて退職しました。大阪工場の生産管理を中心に、海外では工場管理をしました。

海外勤務は 地の果てアルジェリア（1981-1983、2年間）、ブルガリア（1988、6カ月）、アメリカ（1991、3カ月）、タイ（1997-2001、2005-2011、計10年間）、ドイツ（2013-2020、7年間）計20年間弱になります。「笑う地蔵」と言われながら作業着姿でプラント内をうろうろしておりましたので、成果らしき成果の無いサラリーマン人生だったかも？しかし大阪工場では課長として5プラントを潰し、80名を異動、タイでも工場長として1工場を潰してタイ人60名を異動させたので「クラッシャー白井」と恐れられていたと後から聞きました。たまたまリストラの時期だったので。

○ タイの音楽について

本寄稿では赴任期間が長かったタイとライブチヒの音楽についてご紹介します。

タイは大きく分けて、バンコクを中心とした中央タイ、チェンマイを中心とした北タイ、メコン川の西側の東北タイ（イサーン）、マレーシアに続く南タイの4地域に分かれています。それぞれの地域に独特の文化・歌がありますが、私が興味を持ったのはイサーンのモーラム、中央タイのルークトゥン、バンコクのルーククルンです。タイでは歌を聴くのは基本、お寺のお祭りです。タイはテラワダ（上座部仏教）中心で世間が回ります。道のあちこちに立っている看板を見て、いつ、ど

こで、誰が来るかの情報を得て出かけて行きます。着いたら席を確保して、屋台で夕食を食べ、のんびりと待ちます。入場料は只も多いですが、50-100 バーツくらいが平均かな？20時ごろからコンサートが始まりますが、前座歌手達の歌は小耳に聴きながら、ハーン・クルアン（踊り子）たちの布少な目の衣装を楽しみながら、振り付けがばらばらの踊り（練習不足）を楽しんで時間を潰します。彼女たちは農家の娘で、農閑期のアルバイトですので期待はなしです。メイン歌手が出て来るのは23時過ぎ、舞台前では酔っ払いたちが踊っています。気に入った歌手が出て来たら赤いバラやマーライ（首飾り）を渡しましょう。楽しみの一つです。0時を過ぎると最高潮に達するのですが、注意も必要です。酔っ払いどもの喧嘩です。始まったら、頭を保護しながら逃げましょう。コンサートが終了したら、舞台裏に歌手を訪ねるのも楽しい経験です。

そこで歌手たちの紹介をしていきます。まずはイサーン（東北タイ）のモーラムから。

○ モーラム（伝統歌謡）で有名な歌手

① バイエーン・ラーケン

モーラムの女王と言われて長いです。モーラムの中でもやや古いラム・プルーンが多いです。彼女のコンサート数はあまり多くないので、見るためには情報をいかに掴むかが課題です。彼女の娘さんのキャンディー・ラーケンがFM95のパー



バイエーン・ラーケンと筆者

ソナリティー兼強力なプロモーターなので、彼女からの情報で見に出かけました。苦労します。

②シリボン・アムパイボン



シリボン・アムパイボン

ピン・ケーン・デーン・イサーン
というモーラム
楽団を主催して
いますので、見る
気になれば頻度
よく見るものが

できます。バンコクでは空き地で開催される事が多いです。もちろん中心はイサーンでの開催です。引退後はこの楽団で働かせてもらう約束は取り付けましたが、実行は難しいですね。シリボンと言えば名曲ボー・ラック・シー・ダム（黒色の愛のリボン）。恋人が愛の証として、髪にピンクのリボンを結んでバンコクに出稼ぎに行ったきり連絡もない。私の心は黒色のリボンで縛られてしまっていると言う捨てられた田舎娘の恨み節です。タイのカラオケで何度も歌おうとしましたが、ラム部分が早すぎて歌えません。イサーン語の早口言葉に降参です。彼女はその後、鳴かず飛ばずでしたが、グラミーに移籍し、サラー・クナウッド氏の曲（パリンヤーチャイ）で蘇りました。素晴らしいです。ところでシリボンは男です。

③チンタラー・プーンラープ

16歳でグラミーからデビューし、その後マスターテープ、アール・サイアムを経て独立。エッベオ（ぶりっ子）と言われながら、大人気のルークトウン・モーラム歌手です。旦那のプロモーション力と本人の歌唱力でしょうか。マスターテープ時代は楽団を率いていましたが、移籍と共に解散。楽団員はシリボンの楽団に多数移籍で来たようです。モーラム界では昔から人気歌手でしたが、2002-2003年のバード・トンチャイのコンサートにキャトリア・イングリッシュとナット・ミリアと参加した事でタイ全国区の歌手になったのかな？



チンタラー・プーンラープ

○ ルーク・クルン（都会人の歌）

④オラウィー・サッチャノン

ルーク・クルンはカフェやナイトクラブで歌われたと言われています。エカマイのカフェには何回か行きましたが、彼女は見たことがありません。1000パーツ札のマーライ（首飾り）の掛け合いについていけません。金持ち華橋の世界です。一番多いマーライの客の席に歌手が着きます。オラウィーはグラミーのコンサートか百貨店のコンサートで数回楽しませて頂きました。落ち着いたコンサートです。

なかなか生のコンサートが見られないのが、非常に残念でした。



オラウィー・サッチャノン

○ ルークトウン（田舎者の歌）

ルークトウンの女王と言えばプンプアン・ドゥアンチャン。バンコクの北のspanブリー出身です。spanブリーにはゴルフをするために何回か訪ねました。それとワット・タップ・クラダーン（プンプアンが祭られている寺）です。1991年6月13日がプンプアンの命日です。11月13日にコンサートが開催されるので、何回か出かけました。1989年に彼女のコンサートを見たような気もしますが、はっきりしません。

⑤スナリー・ラーチャシーマー

1981年ルークトウンの女王プンプアンが亡くなった後の後継者はスナリーと言われ続けましたが、歌はうまいし人気もあったのですが、カリスマ性に欠けました。

大ヒット曲に恵まれなかったのが遠因でしょうか？私がタイにいた時期、彼女はTV、ラジオ関係のコンサートしか参加しておらず、なかなかコンサートを見られなかった記憶があります。



スナリー・ラーチャシーマー

⑥ジンリートカオ・ウォンテーワン

キラキラな古典的衣装を纏って行うタイの大衆劇リケー出身のジンリートカオ、美人でしょうか？弟の



ジンリートカオ・ウォンテーワン

クン・スティラート・ウォンテーワンとコンビでリケーを公演しておりましたが、嫌気がさしたのか歌に転向して活躍しています。タイ人に連れられてウォンテーワン一座の本拠地を訪れ、リケーとコンサートを楽しみ、寺の本堂で寝る旅行をしましたが、団員の生活は大変そうでした。

⑦フォン・タナストーン



フォン・タナストーン

ルークトゥン歌手随一の美人と言われるフォン姫です。フォンは雨と言う意味です。大学での高学歴、スナリーがシュアから抜けたため急遽メイン歌手に担がれた幸運もありますが、ゆったりした歌が多く、「昴」もタイ語でカバーしています。

TVドラマにも時々参加しております。美人で大好きです。男には興味がないようですか？

⑧ターイ・オラタイ

サラ・クンナウッド先生の秘蔵っ子で、美人、ルークトゥン・イサーン(イサーン語で歌うルークトゥン)と言う分野を作り出した歌手の一人でしょうか？デビューアルバムに因んでドークヤー(雑草の花)と当時は愛唱されてい



ターイ・オラタイ

ました。今はどうでしょうか？舞台裏に挨拶に行った時、間が悪く裸に近い姿を見てしまい、大いに謝った記憶があります。当時のタイのセキリティーは甘かった。ごめんなさい。

⑨メンポー・チョンチチャー

当時はノッポンの看板歌手。メンポーはトンボを意味するので、トンボちゃんと言われています。ロゴにトンボを描く事が多いか？16歳でサーオ・シップホック(16歳の娘)でデビューして、瞬く間に人気歌手に。コンサートのパフォーマンスがピカで何度見ても飽きません。移動中の事故で、本人死ぬかと思ったと言っていました。かすり傷程度だったようですが、その日も舞台上に立っていました。根性に感心します。この事故がノッポから離れ、舞台コンサートの数を減少させた遠因かも？気さくで可愛いです。最近のfacebookはコンサートの写真より子どもの写真が多い。お母さんです。



メンポー・チョンチチャー

⑩カテー&カタライ

姉妹歌手です。カテーは兎、カタライはリスを意味します。カテーはムエタイ元チャンピオンで、ナムワーンノイのリング名で活躍していましたので、当時はキックボクシング関係者の方が良く知っていたかも？父親が元ムエタイ選手、母親は元歌手の影響でしょうか？弟も歌手をしており、家族でコンサートをしていることもあります。FM 95 主催のランパーンコンサート旅行に招待して



カテー(左)&カタライ

頂いて参加出来たことに非常に感謝して強烈なファンになりました。現金な者です。

○ ライプチヒの音楽

次にライプチヒの音楽です。ライプチヒの音楽家と言えば、バッハ、メンデルスゾーン、シューマン、ワーグナーです。ワーグナーは生誕の地、シューマンはライプチヒ大学で学び、妻のクララとの新居となったシューマンハウスがあります。

妻が日本の懸賞に応募し当たったので、シューマンハウスのコンサートに出かけました。

日本の懸賞に当たっても、ライプチヒまで来る人はいるのでしょうか。我が家はたまたまライプチヒ在住でしたが。

やはりライプチヒと言えばヨハン・セバスチャン・バッハです。1723年10代目のトーマス・カントール（トーマス教会音楽監督）に就任し、カンタータをたくさん残しました。現在もトーマス



トーマス教会モテッテ

教会では毎週土曜日の17時からモテッテが開催され、2€（ユーロ）でトーマス合唱団の合唱を聴くことができます。

私の会社の従業員の子どもにトマーナ（合唱団員）がいたので、紹介してもらい家族席で鑑賞させて頂き感謝です。日曜日は9時からミサがあり、こちらは只でトマーナの合唱を聴く事が出来ます。私が在住した時のカントールはゲオルグ・クリストフ・ビラーとゴットホルト・シュヴァルツ、オルガニストはウルリッヒ・ベーメでした。変な日本人が毎週紛れ込んでご迷惑だったと思いますが、親切にして頂いて大変感謝しています。

続いてフェリックス・メンデルスゾーンです。



メンデルスゾーンハウス
離れたでのコンサート

メンデルスゾーン
ハウスコンサート



メンデルスゾーンハウスでは、毎週コンサートが開催されていますし、滝廉太郎も学んだメンデルスゾーン音楽学院もあります。学生たちの発表がよくありますので、只で聴く事ができます。

ライプチヒの中心地にコンサートホールのゲバントハウスとオペラハウスが向かい合って建っています。ゲバントハウスでのコンサートは年52回（26週）で木曜日、金曜日に開催されます。



ゲバントハウス管弦楽屋外コンサート

年に一度の切符売り出しなので、必死で買いました。最安値の席は5€, 次が15€, 最高は70€. 最安値の席ばかり買いましたが、売り切れの場合は次の15€の席を買いました。ライプチヒにいたころはコンサート三昧でした。向かいのオペラハウスは気に入ったオペラの公演のみ見に行きました。少し離れた所にはオペレッタを上演する小さな劇場があり、時々そこまで遠征しました。車で10-20分くらいかな。ここでドイツ語のマイフェアレディーを見ましたが、やや違和感ありでした。

○ 引退後の生活

最後は近況を書いて終わりにしたいと思います。2020年8月に完全引退して時間がありますので、以下の趣味を楽しんでいます。将棋の生配信の観賞（生



でタイトル戦の状況を、プロ棋士の解説付きで同時刻に見られるのは最高)、優待券による映画館での映画観賞、社交ダンス（運動不足解消と着飾った女性陣と踊れるのが楽しみ）、株（1983年アルジェリアから帰国後、吉本興行株が始まり）。株はBuy and Hold ですので、妻から面白みのない奴だと言われています。最近はクリスマス・キャロルのスクルージ化が進み、配当がある度にイヒヒヒと喜んでいるこのごろです。

会員だより



「三河の国のアリス」

～ノンフィクション小説『亜米利加さん物語』より～

鈴木 優 (時習 26)



蒲郡中学の出身です。私は幼いころから書くことが好きで、小学校の作文、詩、読書感想文から始まって、就職してからもシナリオ、小説、短歌と書き続け、リタイアした最近ではノンフィクションに興味が湧いてきました。還暦を過ぎたころから、自分の「故郷」と「家族」を意識して、いつか物語として表現したいと思うようになりました。「誰でも自分の事を1作品は書く事が出来る」と言いますね。時間を見つけ、鈴木一族の歴史をモチーフにノンフィクション小説『亜米利加さん物語』を手がけました。そのほんの一部をご紹介します。

○ 「故郷」と「家族」の物語

「故郷」の方は愛知県三河地方の蒲郡で、時習館関係の方なら説明は不要でしょう。問題は「家族」です。幼いころから親に、「あなたのお祖父ちゃんとお祖母ちゃんは若いころアメリカに渡って苦勞したけど芽が出ず、戦前の田舎町に戻って戦中・戦後を過ごした」と教えられてきました。かの新大陸で5人の子どもが生まれ、私の母がお腹にいる時に祖父は37歳で急逝。慌てて帰国し、すぐに母を出産したのが昭和5年(1930年)の初夏でした。



二人の母と
筆者3歳の時

新大陸で生まれた子供たち



新大陸で排日の嵐が吹き荒れる一方、祖国ニッポンでは軍靴の響きが大きくなって、やがて真珠湾攻撃を発端に太平洋戦争も勃発。その時6人兄弟の長兄はワシントンの駐米日本大使館で働いており、片や次兄は帝国陸軍憲兵として中国大陸で暗躍していました。



次兄の出征

三河に残った祖母や娘たちには、「三河地震」と「豊川海軍工廠の大空襲」が襲います。私の母は女学生の学徒動員でその空襲の日、軍需工場で働いていて九死に一生を得ました。更なる問題はアメリカ帰りの我が家族が三河の田舎町では珍しく「亜米利加(アメリカ)さん」と呼ばれていた事です。蒲郡でも5軒に1軒で戦争の犠牲者が出たそうで、「鬼畜米英」が叫ばれたご時世。

しかし何とか皆が生き延び、やがて戦争が終わると今度は進駐軍がやって来ました。GHQの西日本のベースが名古屋に置かれたため、兵隊さんの保養地として観光都市・蒲郡が選ばれたのです。

さあ大変だ。逆に亜米利加さん一家に通訳の要請が殺到して…。

如何ですか？ 少しは読んでみたい気になってくれたでしょうか？

その後も昭和 34 年（1959 年）の秋に「伊勢湾台風」が、39 年（1964 年）「東京オリンピック」と 45 年（1970 年）「大阪万博」、そして令和 3 年（2002 年）の「日韓ワールドカップ」などにも亜米利加さん一家は翻弄されて時代は移り変わっていきます。

せっかくの『時習館かんさい』ですから、時習館との関わりを述べれば、私以外にも一族には母校の出身者が多くいます。先述の米軍語学兵となった伯父と、その弟の陸軍憲兵も戦前の豊橋中学出身。伯母の長男が団塊の世代で 20 回生。今年 1 月に亡くなった私の兄も 25 回生でした。作中で母校を以下のように紹介しています。

○ 「母校」の記述

さて、やんちゃな少国民のリチャードと言えども、そこは亜米利加さんの一員、見事名門豊橋中学に合格して蒲郡から豊橋・富本町にある校舎に通った。兄のルイスに続いて弟が入学した旧制豊橋中学は、明治 26 年（1893 年）に私立補習学校時習館として開校している。名前から解かるように地元三河の吉田藩主・松平信復が設立した藩校「時習館（じしゅうかん）」に由来しているが、その「時習」とは孔子の「論語」、「学びて時にこれを習ふ」からとった。明治 33 年（1900 年）、千代が生まれた年に愛知第四中学校に変わり、大正 11 年（1922 年）、喜三郎と千代が一時帰国した前年に豊橋中学に改称している。学び舎の広さでも有名で、当時、既に敷地面積では西日本一と生徒は教えられた。

○ 主人公は「アリス」

次にこの物語のタイトル「アリス」についても説明しますと、母たち 6 人きょうだいは末っ子の母以外はアメリカに生まれたので米国籍と米国名を持っていました。第 5 子次女の鈴木文子がアリス。このため彼女は日本でもずっと「アーちゃん」

と呼ばれていました。2 歳で日本に来た時は元気でしたが小児麻痺に罹り、一生立って歩けない身体になってしまいましたが、今も健在で来年数えで百歳になります。



「三河のアリス」こともう一人の母と筆者

このノンフィクション小説のラストは次のように締め括りました。

○ 物語の「終章」

さて、令和 7 年（2025 年）現在、喜三郎と千代の間に生まれた六人の子どもの中で唯一生存しているのが、アリスこと鈴木文子（フミコ・1927 年～）である。7 歳で大病を得て「永く生きられまい」と皆に言われ続けたが、なんのなんの、三河地震も伊勢湾台風も新型コロナウイルス渦も軽々と乗り越え、今年満 98 歳の誕生日を迎える。

きょうだい最高齢になり、2 年後は満百歳だ。「オリンピック 2020」を見た後は、今年、再びの大阪万博を現地で体験したい。蒲郡では百歳になると敬老の日に表彰されて記念品が貰えることを聞かされ、車椅子とマッサージで体力増強に励む日々である。大正の昔、太平洋の荒波を渡る武勇伝で始まった喜三郎と千代の亜米利加さん物語は、6 人の子どもと 12 人の孫と 22 人の曾孫と 17 人の玄孫をこの世に生み落とした。この大河ドラマが幕を下ろすのはまだ少し先のようなのである。

もし本になって出版できましたら、時習館の関係者の方には格安で提供させていただきます。

会員だより

大阪弁と三河弁のはざま

～すれちがいと交わりと～



磯田 規恵 (時習 37)



大阪に来てちょうど 40 年になる。大阪弁とのつきあいも 40 年になった。蒲郡生まれ、蒲郡育ち。小さい頃は三河弁が標準語だと思っていた。そんな私が、大阪に来てから今日までに、どんなふうに大阪弁と向き合ってきたのかを振り返ってみた。

○ にぎやかさの中の孤独

「こんなはずじゃなかった」というのが、大阪に来てすぐに感じたことだった。1985 年の春、大学進学のために大阪を選んだのは、華やかな都会での生活をただ漠然と思い描いていたからだった。阪神タイガースが 38 年ぶりに優勝し、多くの人々が歓喜に沸いて道頓堀に飛び込んだあの年のこと。そこに「大阪弁」という言葉の壁が自分を取り囲み、ときに困惑し、ときに孤独に陥られることになるうとは。

大阪に来たばかりのこと。京阪電車のホームにいと、近くでおばさんたちが話をしていた。なにかおもしろい事をしゃべってる雰囲気だったので耳を傾けてみたが、ふつうの世間話だった。独特な言葉の抑揚が、なぜかおもしろい話をしているかのように聞こえていたようだ。その頃の私にとって、大阪弁はテレビ番組「吉本新喜劇」の言葉だった。知らぬ間に新喜劇の舞台に上がってしまったような不思議な違和感をおぼえた。

大学の授業では、大阪弁のアクセントで英語を読むひとがいた。英語まで大阪弁になるのかと驚愕した。教授の訳文も大阪弁だった。しばらくは授業よりも、そっちのほうが気になってしかたがなかった。

銭湯をでると、「おおきに」と声をかけられた。なんて返していいのかわからなかった。

深夜になった。テレビはどこもローカル番組に

なった。にぎやかな大阪弁が飛び交う。なんだかとても孤独になった。

べつに意味がわからないわけではない。なのに、言葉のインパクトのすごさは想定外だった。高校 1 年のとき、アメリカにホームステイした経験がある。小さな子どもまで英語でしゃべっていて感心したが、予想の範囲内だった。しかし、大阪は日本だ。大阪弁は日本語だ。なのになぜ、こんなにも壁を感じてしまうのか。

○ しゃべり方の立ち位置

もうひとつ、わたしを困らせたのは、

「じぶん、東京？」^{注1}と聞かれることだった。

「いえいえ、愛知県です」びっくりして答えると、相手は急にテンションを上げて、「え？名古屋？名古屋弁しゃべれんの？」とたたみかけてくる。

「あ、あの、名古屋弁じゃないんです」なぜか、すごく申し訳なく思ってしまう。空気が一気にトーンダウンし、会話が冷える。この失敗を何度繰り返したことだろう。「三河弁なので」と、「じゃん、だら、りん」の説明をしたこともあったが、なにか違う。相手が求めているものではなさそうだった。

そのころ、私は大阪でどんなしゃべり方をしていたのか。ただひとつ覚えているのは、下宿の部屋でのこと。友だちにスナック菓子を差し出して、

「食べりん」というと、

「りん？」

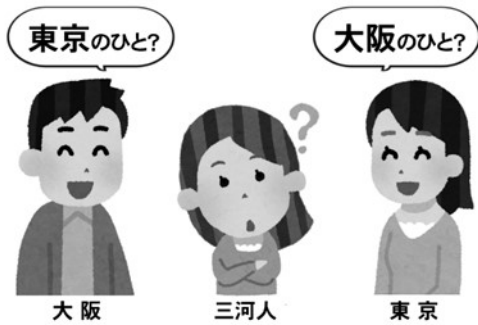
と語尾を掴まれた。そして、「かわいいなあ！男のひとも"りん"っていうん？」と彼女は面白



がって笑った。

文末で鈴を鳴らすように「りん」と言うのは三河弁特有のものなんだろうか。自分にとってはごくふつうの言い方なのに、こんなに笑われる、いや、ウケるとは思わなかった。

その後は、無意識に三河弁を伏せるようになっていた。それが、よけいに「東京？」と聞かれてしまう理由だったのかもしれない。だが不思議なことに、東京に行くと「大阪のひと？」と聞かれた。同じしゃべり方なのになぜだろう。



だれでも自分が聞き慣れたアクセントや言い回しは気にならない。だが、聞き慣れない部分は、存分に耳に引っかかる。三河弁というのは両方の要素を兼ね備えている。アクセントは東京寄りなのに、「知らない」は大阪弁と同じように「知らん」と言う。なので、ひとによって東京寄りに聞こえたり、大阪寄りに聞こえたりするのも知れない。

自分のしゃべり方は、大阪弁の言い回しを含む東京寄りのアクセント。でも、すぐ隣の名古屋弁とは明確にちがう、という立ち位置で確立されていた。「じゃん、だら、りん」は消えていった。

○ 越えられない壁

しばらく住んでいると、大阪弁が移ってくる。語尾が「～やろ」になり、「そやなあ」と相づちを打つようになる。仕方がないと思うのだが、ネイティブのひとにとっては聞き心地のよいものではないとも聞く。

社会人になり、もう在阪歴もかなり長くなった。自分のしゃべりもそこそこ大阪弁になってきたのではという自負が芽生えてきた。

ところがある日、職場で窓の外をみて、

「雨、降ってきた」

というと、同僚がすかさず振り向いて

「だから、その『アメ』っていうのが…!!」と頭ごなしのダメ出しを飛ばしてきた。

完璧な大阪弁だとおもったのに、ショックでしばし棒立ちになった。そして、一瞬でも大阪人気取りになっていた自分はずかしくなった。

三河弁なら「雨が…」と「が」を入れるひが多だろう。大阪弁では「が」がぬけて「雨、」

「降ってきた」の「き」に軽いアクセント置く。この2点は上出来だったはず。でも「雨」は「メ」にアクセントをつけるのが大阪流。

「ア」にアクセントをおくのは、とても気取った話し方のように聞こえるらしい。

雨(あめ)のアクセント

三河弁 アめ

大阪弁 あメ



大阪のひとは、こ

ういう細かいアクセントに非常に敏感である。ひとつ違っただけで、すぐに「よそのひと」と見抜いてしまう。でも、この細かいアクセントは本当にむずかしい。「手、目、歯、毛」を「てえ、めえ、はあ、けえ」と伸ばして発音するのも特徴的だ。

「毛」だけなぜか高い音で「ケー」と発音するところはさらに難易度が高く感じる。

「橋」「箸」のように、アクセントの位置が三河弁と逆になる言葉もある。「雨」と

「飴」はどうだったかと考えたが、飴はなぜか「あめちゃん」と呼ばれる。これもまた意表をつく難解さだ。



○ 娘たちからの判定

結婚して、大阪市内の主人の実家の近くに住むようになった。娘ふたりとの4人暮らし。家族はみんな大阪弁でしゃべる。あるとき台所にいると、下の娘の

「うるさいねん！」

という声が聞こえた。要らぬひとことを言うのが大好きな主人が、また何か言ったようだ。

私がすかさず、

「お父さんに『うるさい』はないわあ！」

と注意すると、家族全員から一斉に

「そういうしゃべり方やねん!!」と返ってき

た。

悪態をついたのではない。父親の思惑どおりに突っ込みを返したノリの良い娘ということらしい。主人は満足気にムフッと笑っていた。こんなふうには、私は家にいても、常にひとりアウェイの状態である。

ちなみに、上の娘に「雨」をどう発音するか聞いてみると、やはり大阪流の「あめ」だった。理由は「友達がみんなそう言うから」。母親より友達の影響のほうが大きいということだ。

そして、雨が降ってきたらなんとと言うかという問いには、「雨、降ってきた」ではなく、

「うっつわあ！！」

「どんだけ降ってんねん！」とつつこみたくなった。

うっつわあ!!



※よく使われる表現

漫オコンビ「海原やすよともこ」のネタ「東京と大阪の女の子のちがいで、終電に乗り遅れたとき、東京の子は「乗り遅れちゃったあ」とかわいく言うのに対し、大阪の子は「うっつわあ！！」。以前は、大げさに盛ったネタだとおもっていたが、娘たちが成長するにつれ、ネタではなくリアルであることに気づかされた。

ついなので、私のしゃべり方についてどう思うか、娘たちに聞いてみると、

「ぜんぜん大阪弁じゃないけど、へんでもない」という判定だった。「ぜんぜん」で…。自分では8割いけてると思っていたのに、まさかの0点だった。厳しすぎるやろ。

○ 最後に思うところ

では、どうしたら大阪のひとたちとうまく会話ができるのかという結論をここで立派に述べたいところだが、特効薬はない。代わりに、自分の過去に対して思うところを3つほど挙げてみたい。

ひとつは、若いころ、自分は田舎者だと引け目を感じすぎていたかもしれない。大切な自分の故郷である「三河」を、愛知県の「名古屋じゃないほう」に自ら格下げしていたようにおもう。それがしゃべり方や立ち振る舞いの自信のなさに出て

しまう。

大阪のひとの素晴らしいところは、じぶんが大阪で生まれ育ったことに絶対的な誇りを持っていることだ。どこに行っても大阪弁で通す強さがある。他県に出ても、大阪弁を伏せたりしない。それどころか、芸人さんのような、より大阪っぽい大阪弁を披露するなどサービス精神も旺盛だ。

大阪に来てはじめて、三河のよいところに気づくことがある。そして、この年になって、あらためて自分が三河で育ったことを認識させられる。いくら大阪に長く住んでも変わらぬ基盤だ。大阪のひとたちから学んだことは、故郷を誇りに思っただけで、自分の自信につながるということだ。故郷の三河に誇りをもてば、大阪のひとたちとの付き合いのなかにも、ポジティブなファクターとして表れていくはずだ。

もうひとつ。相手が温めようとしている会話をうっかり冷やさないように心がけたい。大阪のひとたちは独特のノリとテンションで話をする。会話のスピード感や、語気の強さ、声の大きさ、前のめりな姿勢、そして何より笑いの引き出しの多さ。すべてが三河人とちがう。ついていくのは至難の技だ。大勢でいると疎外感をおぼえることも少なくない。

蒲郡の「ガマガエル」に似た語感をどれほどいじられたか。母校の略称「ガマン、ガマチュー」^{注2}も側から見れば、たしかに笑える呼び方だ。はじめは恥ずかしかったが、そのうち自分でもネタにするようになった。覚えてもらえれば、故郷の宣伝になるという図太いマインドも得られた。

ガマゴオリ
ガマガエル



そして最後に、じぶんが永遠のアウェイであるということを受け入れることも、心の安全策として有効かもしれない。大阪人になろうとすると焦りが出て、けっこう滑る。

大阪にいと、頑張らないといけないことがけっこうある。それでも、なんとかやってきた。あるときは「ま、いっか」、あるときは「もうええわ！」と思いつつ。

注1：二人称を「じぶん」と言うのも驚きだった。

注2：蒲郡南部小学校、蒲郡中学校



代表的三河弁一覧表

場所によっては、使われていないかも知れませんが

事務局

三河弁	意味(標準語)	使い方
あんき	安心だ、気が楽だ	息子さんが仕事を継ぎ、これからはあんきだのん
いごく	動く	車を坂道に停めたから、いごいたら
いじくる	触る	このプラモデル、いじくったらいかんよ
えばる	威張る	あいつはえばることしか能がないじゃん
えらい	大変だ、(程度)が甚だしい	荷物を持って、この坂登るのえらいわあ
おいでん	来てください	パーティーが始まるよ、早くおいでん
おくれん	ちょうだい、ください	みんなが待っているから、早く電話しておくれん
おそがい	怖い、不気味	田舎の夜道は暗いから、おそがいのん
くすげる	突き刺す	杭を庭の四隅にくすげておくれん
ぐろ	～の端、隅	車が来たら、道路のぐろに寄りん
けっこい	清潔だ、きれいだ、美しい	あの子、けっこい子だのん
けなるい	羨ましい	けなるいなあ、そんなに旅行に行けて
こすい	ずるい、ずる賢い	順番に並ばず、こすいぞ
さばくる	さがしながら散らかす	カバンの中をさばくって見たが、なかった
さぶい	寒い	雪だ、今日はさぶいわあ
さら	～ごと、一緒に	キンカンは皮さら食べりん
じゆるい	ぬかるんでいる	雨が降った。道がじゆるいから気を付けりん
せばい	狭い	川筋の道はせばいので、気を付けておいでん
たいげ	疲れた、面倒な	また、たいげな仕事引き受けちゃったたら
つべたい	冷たい	この草履、外にあったのでつべたいのん
どべ	最後	今日のマラソンはどべだったよ
ちょこっと	ほんの少し	ちょこっとだけ試してみる？
ちゃっと	さっさと、すぐに	言われたことは、ちゃっと、やりん！
ちょうける	ふざける	あんた、ちょうけとっちゃいかんよ
どえらい	めっちゃくちゃ、大変	どえらいことになつとるじゃん
とろくさい	馬鹿馬鹿しい、つまらない	とろくさいなあ、そんなこと言って
なんだん	どうかしたのか、どうしてだ	突然来て、なんだん、何かあっただかん！
ひぼ	ひも	くつのひぼがほどけちゃった
ふてる	捨てる	古いシャツでもふてるのが惜しいのん
へぼい	弱い	あんな子に負けたんか、へぼいのん
ぼっくう小僧	いたずらっ子	また、あのぼっくう小僧が悪さしたんか
ほせ	棒、串	俺のアイスのはせ、当たりじゃん
ほれみん	それみなさい	ほれみん、やっぱり中日が勝ったたら
やぐい	もろい、粗雑	その器、やぐいので気を付けりん
ようけ	たくさん	ようけ食べると腹壊すぞ
らんごく	乱雑	お前の部屋らんごくだな、かたづけりん。

出典：(参考)「三英傑メモ帳」

会員だより



運命の出会いから始まった冒険
～和歌山で生まれたクラフトビール工場のお話～



金子 巧 (時習 60)

こんにちは、Nomcraft Brewing の代表をしています。Nomcraft Brewing は 2019 年に和歌山県有田川町で創業したクラフトビールの醸造所です。僕たちの醸造所は、もともと保育所だった一角をリノベーションしてスタートしました。



元保育所外観

Nomcraft は、日本人や外国の方もよく使う「飲む : nom」と「職人 : craft」を掛け合わせてネーミングしました。大切にしているのは楽しく・オープンで・カジュアルなクラフトビールを広めること。このことを「NOM 文化 (Nomcraft を飲む文化)」と呼んでいます。創業以来「クラフトビールでまちづくり」をモットーにし、僕たちのビールを飲んだ方が和歌山や有田川町のことを知っていただくというスタイルで「まちづくり」に挑戦してきました。



ノムクラフトビールの多彩な展開

創業から 5 年を迎え、スタッフの増員や缶ビール生産に着手するなどした結果、僕たちのビールが全国の皆様に楽しんでいただけるようになりました。

した。おかげさまで 2024 年 2 月に横浜で開催されたジャパンブリュワリーズカップで IPA 部門で国内 1 位の評価を得ることができました。2024 年夏には醸造所拡張工事を終え、今後、大阪や和歌山市内で直営店舗 (樽生ビールが楽しめ、持ち帰り缶ビールが購入・発送できる店) を展開していく計画を立てています。



「NOMCRAFT」のビールが
全国コンペ IPA 部門で 1 位

豊橋市出身の僕がなぜ有田川町で醸造しているのかというと、そこにはやはり、運命的な出会いがありました。幼いころから育んだ家族や近い友人のような“強いつながり”ではなく、偶然旅先で出会うような“弱いつながり”が、僕の人生を大きく変えてしまいました。有田川町という自治体と、金子巧という個人の 2 つの時間軸でお話します。

○ 大学卒業後の海外放浪

豊橋市大岩町の出身。時習館高校では、サッカー一部キャプテンとして活動し、2008 年 3 月卒業。愛知教育大学に進学。中等保健体育を専攻したため、周りの同期はみんな学校の先生で活躍してい

ます。大学卒業後、300日の海外放浪の旅に出ました。ベトナムホーチミン行きの片道航空券(中国経由の待ち時間10時間くらいの格安航空券)だけ購入、40リットルのバックパックひとつ背負い、その中に数日分の下着と最小限の荷物を詰め込んで一人旅に出ました。『地球の歩き方』のような旅行雑誌には、一切目を通しておらず、下調べもゼロ、とにかくそこで出会った人、見たものを感じる、そういった流れに身をまかせた旅でした。ビートルズの名曲「Let it be」、美空ひばりの「川の流れのように」。まさしく、こういった曲を頭に浮かべて。

とは言うものの、初日の宿すらも予約しておらず、空港に到着した夜中の0時。「さて、どうしよう」という感じでした。幸いホーチミン空港に到着して、たまたま60代か70代の日本人男性と出会い(彼は、これからハノイに行くためのトランジット中。黒モン族の撮影に「趣味」で行くとのことでした)、ホーチミンの安宿情報や、ベトナムのざっくりした生の情報を聞くことができました。空港で朝8時まで待機することにし(そうでないと換金所も開いていないから)、ローカルバス(タクシーも乗らないと決めていた)を見つけたので、おじさんに教えてもらったホーチミンの安宿が集



ホーチミンのバックパッカー街

まるバックパッカー街のストリート名を運転手に伝え、バスに乗り込みました。

○ 旅先でのワクワク感満喫

行った先はどんなところなのか、また何があるのか全く分からない状態です。不安とワクワクが、ちょうど5割。それが、心を刺激する瞬間でした。

バス運転手が教えてくれ、目的のストリートに到着。何件か宿を巡り、それぞれどんなところなのか、いくらなのか、交渉余地はあるのか、そうこうして、寝床を決め、重たい荷物を下ろしました。その後、体力が続く限り思いのままに毎日カメラ片手にフラフラと街を歩いていました。

ホーチミンの後は、中部に位置する古都フエに

寄ってハノイまで北上。ビザの日数が切れそうだったので、陸路で中国まで渡り、すぐベトナムに戻ることで、ビザ有効日数を稼ぎました。それから28時間の山間を抜けていくローカルバスに乗り込み、ラオスはルアンパバーンへと向かうことにしました。



インドバックパッカー

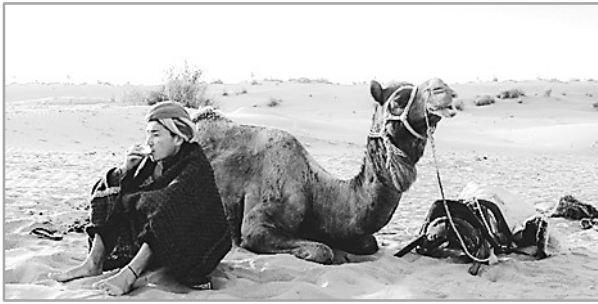
こんな陸路を移動する旅スタイルで、ベトナム、ラオス、タイ、カンボジア(この国はバイクで1周)、マレーシア、ブルネイ、それからインド(インドはとても気に入ったので、その後、2度訪問。合計1年ぐらい滞在)、ネパールへ(ヒマラヤ山脈の峠越えと言う登山目的。登山が趣味の方はぜひチャレンジしてください)。



ヒマラヤ山脈での登山

アジアの後は中東へ。ビザの関係で陸路移動での国境越えができなかったため、一気にヨーロッパまで飛び、スペイン、ポルトガル、それからイタリアへ。イタリアのクレモナではインドで出会ったバイオリン職人の工房に泊めてもらい特別な時間を過ごしました。そんなこんなで楽しい特別な時間を過ごし、あっという間に300日と言う時間が過ぎました(実は、銀行残高が尽きたので旅の終焉へ。ヨーロッパは本当に高いですね)。

この旅では、旅先のワクワク感や、見たもの、出会った人から、あらゆることを吸収できました。あのころ経験した海外放浪の自由な旅感覚は今でも忘れず残っています。



インドラジasthan州にある砂漠にて

○ アウトドア・ライフを満喫

海外放浪の旅から帰ってきて、この世界を生きる上で英語の習得が必須だと言うことを身に染みるように感じました。すぐフィリピンへ語学留学に行き、少しの自信を得たので、オーストラリアとカナダへワーキングホリデーに行きました。

カナダでは、ジャスパーというロッキー山脈に囲まれた街に滞在し、素晴らしい自然に囲まれてアウトドアにどっぷり浸かって遊んでいました。(遊びメインはトラウトフィッシング)。



カナダでの釣り、ビッグトラウトを釣り上げる

働いていた勤務先は、クラフトビール醸造所併設の飲食店で、そこではキッチンで働いていました。人口 5000 人弱の町に、年間 200 万人以上が訪れる観光地なので、サマーシーズンは超多忙です。

僕と同時期に雇用された日本人のレイさん(彼はカナダの永住権を取得済み)は、醸造家として勤務しており、彼からはクラフトビールのあれこれ楽しいこと、ホームブリューイングなどを学び、交換として僕からは楽しい釣りについて教えてあげました。そんな経緯もあり、釣りシーズンが終

わり、いったん日本に帰ろうかなと考えていた矢先、「ジャスパーから近いアメリカのポートランドは、クラフトビールがとても盛んで面白い街らしい」という情報を仕入れ、2 週間という短い期間 1 人で旅行することにしました。

○ 有田川町との運命的な出会い

その時、泊まっていた宿で、たまたま手にした本に紹介してあった「The side yard farm」という面白い近郊農場がありました。さっそく「1 日だけボランティアみたいなことをさせてくれ」と連絡したところ「では 2 日後に来てくれ」と返事をもらい、遊びに行きました。



有田川町との出会い、サイドヤードファーム

サイドヤードファームの農場長と土をいじっていると、外からぞろぞろと 20 人ぐらいの日本人が歩いてきました。そのグループが有田川町のまちづくり団体でした。そこで、有田川町の方といろいろ話をさせていただき、興味を持ち、後日、有田川町を訪問することにしたのです。それは次のような経緯によります。

○ 消滅を危惧する町が再生へ舵

最新の推計によると「2040 年には全国自治体の約半数が消滅する可能性がある」と言われます。危機感を覚えた和歌山県中部に属する有田川町も、消滅を危惧する自治体の 1 つ。2016 年に廃園となった保育所を活用し再生へと面舵をとったのです。

2017 年秋、アメリカポートランドの住民主体のまちづくりを視察するため、有田川町の方が現地を訪れました。視察とガーデンパーティを控え

た The Side Yard Farm を訪れ、私と出会うこと
になります。

こうして、僕は有田川町との運命的な出会いを
果たし、旧保育所をリノベーションし、クラフト
ビール醸造所 Nomcraft Brewing を始業しました。

○ クラフトビールで地域起こし

冒頭でお伝えしたように、2024 年夏、拡張工事
を成し遂げ、これから醸造所直営店を大阪と和歌
山市内へと展開する計画をしています。



滋賀県日野市で開催したイベント会場にて

クラフトビールを通じて、ここ有田川町を発信
していますが、実は豊橋出身のチーム (Toyohashi
City Craft / THC Craft) を組み、クラフトビール
というツールを使って豊橋を盛り上げる活動にも
取り組んでいます。今までブラックサンダーを用
いたチョコレートフレー
バーの楽しめるクラフト
ビールの開発や、最近では
豊橋出身の日本画家中村
正義氏 (故人) の生誕 100
周年を祝うビールも製造し
ました。



○ おいしいビールは楽しい雰囲気から

僕たちのつくるビールは「より高い品質を、よ
り美味しいビールを」という思いでいつも改良に
改良を重ねています。何よりもメンバーの全員は、

ビールが大好き。自分たちがビールづくりを楽し
いと感じなければ、クラフトビールはおいしくな
りません。

だから僕たちのブルワリーはいつも楽しくてチ
ャレンジングな空気が溢れています。その楽しい
バイブレーションはきっとビールにも詰まってい
るはず。このハッピーなバイブレーションを
和歌山からもっともっと広げていきたい。そんな
挑戦を有田川町という小さな自治体から発信して
います。



「ノムクラフト」5人衆
(一番右が筆者)

全国各地、豊橋でもイベント出店していますの
で、お会いするときはぜひともお声かけください。
少し宣伝になりますが、オンラインショップも
展開していますので、ご興味ある方はぜひお問
合わせください。それでは、時習館高校卒業の
皆様、素敵な人生を…お過ごしください！

(少し、会社の紹介をさせて下さい)

NOMCRAFT BREWING 会社概要

会社住所

〒643-0854 和歌山県有田郡有田川町長田 546-1
株式会社 CAMPS 有田川
NOMCRAFT BREWING
代表取締役 金子 巧 / Takumi Kaneko

Instagram

<https://www.instagram.com/nomcraft.brewing/>

オンラインショップ

<https://nomcraftbrewing.stores.jp/>

E-mail

takumi@nomcraft.beer

発注用 EC サイト

<https://nomcraftbrewing.bestbeerjapan.com/>
Nomcraft Brewing : <https://nomcraft.beer/>

Facebook

<https://www.facebook.com/Nomcraft/>

会員だより



アウシュヴィッツにて

杉原千畝を訪ねて
～ドイツ、ポーランド、リトアニア～



柳 菜津子 (時習 66)

初めまして。

大阪府生まれで山口県出身、広島県の小学校から牛川小学校に転校、青陵中学校を卒業し、2011年4月に時習館高等学校に入学、2014年3月に卒業しました。在学中は、剣道部副主将とゆりのき会(旧・ボランティア委員会)の会長を務めておりました。

さらに、部活動実習を母校にお願いしたご縁から、2019年度から2023年度まで、剣道部OB・OGの初代サポート役として運営に携わり、先生方・先輩方と後輩の方々にもたいへんお世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

現在は、外国語科の教職兼学生として、東京と京都の大学(院)で学んでおります。

○ コロナ禍でドイツ留学が白紙になる

少しだけ過去に遡りまして…

2020年、私はドイツのMünchen(ミュンヘン)という街に留学するためドイツに滞在していました。

しかし、コロナ禍の襲来のため、留学自体が白紙になってしまいました。

独自で準備したこともあって悔しさがありましたが、「いつかまた」の想いを胸にドイツから帰国前、今まで訪れたことのないポーランド、リトアニアを訪れることにしました。

論文は杉原千畝氏を主に、外交史で執筆することに決めていたことがその二国を訪問先に選んだ理由です。



杉原千畝氏
第二次大戦でユダヤ
の人を「命のビザ」で
救った外交官

○ 強制収容所 Dachau と Auschwitz

ミュンヘン近郊の Dachau (ダッハウ) には、第二次世界大戦中に「強制収容所」がありました。そこには、のちに『夜と霧』を執筆するヴィクトール・フランクルも収容されていました。



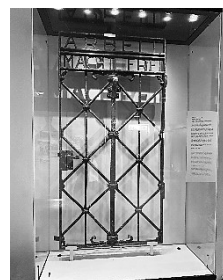
ダッハウの「ガス室」

ダッハウをご存知でない方も、今までAuschwitz(アウシュヴィッツ)という地名を、一度は耳にされたことがあるかと思います。実は、アウシュヴィッツはポーランドの地名であるOświęcim(オシフィエンチム)をドイツ語読みしたものです。

なぜ、オシフィエンチムとは呼ばないか、それは一説によると、「あの一連の出来事がポーランドによるもの」と誤認されたくないからでした。

しかし、悲惨な存在である「強制収容所」の存在を未来へ教訓として遺すために、ドイツ語読みの地名で今に伝わっています。

ダッハウとアウシュヴィッツ、どちらの門にも "Arbeit macht frei" (働けば自由になる) という表記があります。もちろん、大嘘です。



ダッハウ(左)とアウシュヴィッツの門

あの場所は、どのようなことばを以てしても表現できないほどの衝撃を受けるかと思います。



アウシュヴィッツ強制収容所
説明なき展示

○ リトアニアのカウナス

次に、リトアニアの Kaunas（カウナス）を訪れました。

カウナス駅から徒歩で 15 分ほど、長い長い階段を上った先の住宅街の中に杉原千畝記念館があり、本当にあるのか？と不安になるほど遠く感じました。ビザの発給を願ったユダヤ人の方々は、必死な思いでこの場所を訪れたのだと思うと、改めて杉原氏の決断の偉大さがわかります。



リトアニアのカウナス駅（左）と
杉原千畝記念館へ向かう長い階段

岐阜県八百津町にも杉原千畝記念館がございます。リトアニアは遠すぎる…という方はそちらへぜひ。



カウナスにある杉原千畝記念館



「死への道」

○ 人の残酷さ、醜さに触れ我が身をただす

当時はコロナ禍序盤ということもあり、さまざまな場所で、まるで菌かのように避けられました。

THE アジア人の外見をしている私を見た瞬間、マスクをサッと上げられたり、車掌さんに文句を言って席を替えられたり、通りすがりに唾を吐き掛けられたりしました。

それまでの人々が優しくただけに、改めて人間の残酷な一面を知り、自分は追い込まれてもこのようなことはすまいと思いました。

なんとか帰国した今でも、その思いは強くあります。

○ 皆さんとの再会を楽しみに

最後になりますが、みなさまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

しばらく東京の生活が続くかと思います。

「學而時習之」に、続く「論語」にもあるように、いつの日かまた、お目にかかれますことを心待ちにしております。

訃報



大石由紀子さん（時 10）のご逝去を悼む

～ご冥福をお祈り致します～



時習館同窓会関西支部 顧問 伊藤 忠男（時習 13）

○ 突然のご逝去

お亡くなりになられたのは、今年（2025年）の2月1日、突然のこと。お風呂でのヒートショックと聞いています。



東久邇宮国際文化褒賞受賞

1月17日にはお電話があり、本年度の総会日程と場所をお聞きにされました。その時は「6月21日は予定を入れられないようにしておきます」と元気溢れるお声。いつもと変わらないご様子でしたので、驚きを隠せません。

常々「少し、体力が落ちてきたが、まだ最低5年、90歳までは」と言われ、精力的に活動を続けておられたのに。大石さんにとっては悔しい思いの方が先に立つのではないかと思います。

○ 支部活動発展に尽力

皆さんご存じのことと思いますが、JKL（時習館同窓会関西支部女性の会）創始者の一人です。



平成23年淡路島にて JKLとJNLの合同行事
（上段左：JNLの三林さん
上段右：大石さん）

故郷を離れ、関西の地に来て、言葉も文化も違う中での暮らしに、多くの女性同窓生が戸惑いを感じていたころの時代。大石さんは時々当時を振り返り、女性の権利、地位が低く、今では想像できない差別感を感じる時があったと述懐されていました。厳しい世相の中、女性同窓生の自立意識向上を念頭に、分け隔てなく、互いに励まし合い、気楽に親睦と交流が深められる組織作りに腐心したと聞いています。

その先頭に立ち、率先し

て、悩みを聞き、こまめに相談に乗られている姿が印象に残っています。

その後、JKLの考えが名古屋支部にも波及し、JNL（時習館同窓会名古屋支部女性の会）が結成されます。その礎を作ったのが大石由紀子さんその人。JKL、JNLが今あるのは大石さんのお陰です。

○ 長年福祉活動に取り組む

2000年から、ボランティア活動をしておられます。保護司に加え、性的虐待をされている子どもたち等に電話で相談に乗るとか、犯罪に手を染めた海外の方に対し社会復帰の手助けを行う等です。

こうした活動が評価され、2014年東久邇宮国際文化褒賞、2022年作田明賞他数々受賞されています。それらの内容は2024年11月11日から三日間、産経新聞（夕刊）一聞百見の欄で取り上げられ、「女性自立支援し続け半世紀（上中下）」として細かく記載されています。



2024年11月の産経新聞夕刊

その上、大石さんが日本画にも精通されていること、皆さんご存じかと思えます。

○ 大石さんの遺志

大石さんは生前「私の支えは、社会のために尽くしたいとの思い、それがすべてです」と言っていました。時にはその強い思いが空回りし、悩んだこともあったとか、それでも「これからも自分がしたいと思うことをやっていきたい」との意欲に燃えていたのです。彼女のこうした思いを引き継ぐことが、少しでも社会を良くすることになると信じます。

昨年の小野君に引き続き、今年もまた、貴重な人材を失ったこと、返す返すも残念です。心からお悔やみ申し上げます。

合掌

特別投稿

他支部からの便り



特別投稿

東京支部理事に加わりました
～事務局新人の独り言～

東京支部 河合 康之 (時習 28)



昨夏8月、東京支部の「夏の懇親会」で理事(事務局担当)に選任され、2025年1月に事務局執行部に加わりました。事務局の先輩鈴木孝始さん(時習30)の教を請いながら同窓会事務局業務にも慣れていきたいと思っています。鈴木さんから「今後、関西支部や本部等と接する機会も多くなるだろうから、就任早々の寄稿は自己紹介のタイミングとしては理想的では」と甘い言葉をかけられました。執行部メンバーとなって直後で何を書いて良いかわからないままペンを走らせています。自分のことだけに偏りがち、読みにくい、何を言っているかわからないとは思いますが、ご寛恕願います。自己紹介、私のこれまでの東京支部同窓会活動との関わりに触れながらご挨拶させていただきます。

○ 東京への道 ～憧れの大都会

1957年(昭和32年)、豊橋市大崎町生まれ、大崎小→南稜中→時習館です。実家は半農半漁でした。当時の日本はイケイケで高度経済成長期に合わせて東三河地域も1963年(昭和38年)に工業整備特別地域に指定され、大崎も漁業権を放棄しました。そして大々的な埋め立てが行われ、実家も完全に農業にシフトしました。小規模農業で両親は本当によく働いていました。高度経済成長のひずみもありましたが、とにかく活力の感じられた時代でした。

時習館に進学する際に私たちが待っていたのは高校の入試制度の大きな転換、学校群制度の最初の学年でした。時習館28回というより学校群1回生という過剰な意識がありましたし、生徒以上に受け入れる先生の方が大変センシティブになっていたように思われました。入学式の際、生徒会長

が「時習館の先生は集団になると悪くなるが、個人としては非常に良い人である」と挨拶され、「高校は違うな、こんな学校があるのか」と非常に驚いたことを思い出します。当時はまだ学生運動の名残があったのでしょうか。

当時出版されていた
「深夜放送ファン」

中学、高校時代には「深夜放送」にのめり込み、聴いていました。学校から帰るとすぐに寝て、10時ごろに起きて食事、朝まで聴いて、そのまま通学する生活でした。月曜日から日替わりで大阪～東京のラジオ局を聴く番組を決めていました。大阪

のパーソナリティは吉本新喜劇等の芸人が多く、東京のそれはさまざまなアーティスト系が多かった印象でした。東海地域の深夜放送は聴かず、この当時より東京や関西の大都市への憧れが強かったのかも知れません。TBSラジオの金曜のパッテインミュージックの大ファンでした。

3年生になり大学受験を迎えてもこんな感じで関西の希望大学は不合格。自分では受かったつもりになっていたのは今思えば笑えます。全く自分の実力と周りとの関係を計ることが出来ませんでした。このため毎朝名鉄に乗って名古屋の河合塾千種校に通うこととなり、その後、行きがかりもあり、進路を西から東へ東京方面に大転換しました。幸い、翌年には合格でき、両親がほっとしていたのを見てとてもうれしかったことを覚えています。

当時の授業料・学費はまだまだ安かったのですが、小さな農家で厳しい家計の中、両親にはやりくりしてもらいました。現在の学費の実態を聞くにつけ本当に大変であると思います。時代に恵まれました。

○ 素晴らしい神戸 大阪は日本の中心狙え

理科系（今は死語ですか？）に進み建築をやりたいなと思っていましたが、3年の時に一緒だった現役合格の鈴木毅君が建築学科で大変な思いをしながら学ぶ姿を見て、これは無理だと逃げ出しました。すぐに易きに流れる性格です。それでも建設系にとどまり、土木の道に進み、大学院終了後、1983年（昭和58年）に不動産会社・三菱地所に入社しました。当時、大学の土木工学科から三菱地所にプロパーとしての初めての学生でした。配属先は建築が中心の設計監理部門内にある土木部、当時は事業サイドと一緒にあって、いわゆるニュータウンの開発等を担当していました。少しずつではありますが水面下では丸の内の再開発の雰囲気も感じられる時期でした。

社会人3年目の10月に豊橋市小池町に両親と住んでいた3歳下の妻（豊橋南高校出身）と結婚しました。当時会社では、「結婚する」「家を買う」と転職になるとの都市伝説がありましたが、本当に翌年のお盆休み明けの8月18日付で大阪支店に転職になりました。異例の日付でした。東京では担当もしていない須磨ニュータウンの脇にある20ha程度の「神戸須磨住宅団地造成工事」の現場事務所で、プレハブ小屋の事務所に所長と私の2名態勢で心細い思いをしました。着任したばかりのころ、現場近くの学校に通う女子高校生や大阪支店の女性社員が関西弁を話すのをリアルに聞いた時には「本当に関西弁を話すんだ」と妙な感動を覚えました。

地元からの反対もあり、本格的な工事には入るのが遅れ、土地利用計画を大きく見直しての本格的な工事となりました。造成工事途中からは「須磨パークヒルズ」の名称のマンション建設も合わせて開始しました。

関西で生活するのはもちろん初めてです。神戸は平清盛時代の古い歴史の上に、開港以来のハイカラな雰囲気も加わり素晴らしい街でした。

大阪もザ・関西の中心にふさわしい魅力的な空間でした。当時、JR西日本の三都物語のキャンペーンも始まり、これからの日本の中心は大阪となり、こてこての文化が日本中に広がるのではないかと真面目に思っていました。現在、方言が無くなってしまふのではとの流言がありますが、絶対に関西弁は残って欲しいと思います。もちろん三河弁もです。



グーグルアースで見る完成した「須磨パークヒルズ」
33階建てのタワーマンも

○ 東京リターン ～同窓会活動に触れる

須磨パークヒルズや大阪アメニティパークという再開発案件にも取り組んでいる途中、6年半強の大阪支店からバブル末期の1993年（平成5年）4月に古巣の三菱地所土木部に異動しました。東京への引っ越しにあたっては豊橋との移動の際に車で首都高を通過するのが嫌で、神戸と似た印象のある横浜に決めました。その後、住所はずっと横浜です。東京復帰後は技術部門が分社独立した三菱地所設計に勤務、2023年（令和5年）3月に退職するまで勤務しました。この会社生活では大阪転職前の丸の内再開発が本格的に動き出し、さまざまなプロジェクトを担当することができ充実していました。仕事で携わった施設ができ、街へ来られる方に利用されているのを見ることが出来るのは、とても嬉しいものです。

東京リターンの時期に同窓会活動に少しずつ触れました。同級生とのプチ同期会はいくつかありましたが、いわゆる公式な同窓会活動には全くノータッチでした。同期の松井収君から「卒業後25年経ったOBは実行委員として運営する総会があるので協力して欲しい」と連絡がありました。勤務先が東京駅近で至便なため、その打ち合わせのため会社の会議室を用意することが同窓会活動の

第一歩でした。

その後、プチ同期会メンバーの女性から「先日時習館同窓会のイベントで『東京競馬場で競馬体験ツアー』に初めて参加したら、次の年から君たちの代が幹事学年とのことでよろしくと言われた。メインで担当をしてもらおう想定だった人が異動になり困っている。貴方はやってくれると話してあるから、やってくれるよね、私たちも協力するから」との電話。幹事などを経験したこともなく、無理だと逃げまくっていた私でしたが、渡世の行きがかり上、断れませんでした。

話に聞くと「時習ファミリー」なるもので、2年間担当して、年に2回のイベント企画・運営をするとのことでした。この「時習ファミリー」と「時習サロン」は支部公認イベント、現在の館野支部長（時習 18）が先輩後輩の交流の場として仕組みづくりをされたものです。館野さんは毎回参加され、28回生の企画や運営についてもきっちりとフォローして下さいました。

これまでも何度か『時習館かんさい』に時習ファミリー・サロンが取り上げられていますが、あらためて私たちの企画と簡単な概要について紹介させていただきます。

- ① 「園長さんの案内で上野動物園を見に行こう」
2018年11月24日開催（出席者36名）



時習ファミリー上野動物園 園長さんと一緒に集合写真

これまで担当された26回生が候補地に挙げており、伊藤精美さん（時習 19）の尽力で園長さんの案内が可能になった企画です。シャンシャンの誕生1年でパンダは150分待ちで見ることが出来ませんでしたが、“お宝”の『パンダを中国から運んだ箱』を見ました。出席者36名。

- ② 「三菱一号館美術館を見に行こう」 2019年
5月11日開催（出席者33名）



時習ファミリー三菱一号館集合写真 「ラファエル前派の軌跡展」鑑賞

会社のコネで、三菱地所設計建築設計者から丸の内の歴史や復元された一号館についてと、三菱地所美術館室の方から展覧会「ラファエル前派の軌跡展」の見どころを聞いた後、展覧会に向かいました。時習ファミリー開催後に「在校生やこれから入学する人たちのためにも文化の灯をともし続けて頂きたい」という先輩の声。出席者33名。

- ③ 「ANAの機体工場見学」 2019年10月26日開催（参加者44名）

これも同期の松井収さんの関係で空の安全を支える機体整備関連施設を格納庫で見学しました。この企画に私は残念ながら見学会には参加できませんでしたが、その後の羽田界隈の会社員愛用の羽根つき餃子の蒲田の中華屋での懇親会には参加できました。

- 幻の企画「漫画の聖地でブラファミリー サンシャイン水族館を見に行こう」 2020年5月23日開催予定（コロナで中止）

これも会社のコネ活用です。案内をみると「時習28回生担当の企画は上野動物園からスタート、東京2020を飾る最後の回も生き物企画として、空飛ぶペンギン・へんないきもの等、話題を提供している池袋サンシャイン水族館…館長さんのお話、裏方ウォッチングあり…ファミリー幹事団もマラソン鈴木亜由子さんを応援します」と結構力を入れ、開催したかった企画でした。先方にも何度か足を運び、誘導場所なども含め、運営の段取りもしていましたが、東京2020もコロナ感染防止のため結局中止となりました。

こうした同窓会活動を通じてやはり同期のありがたみをととても感じました。参加された方々の感謝の言葉にはとても温かみを感じました。同窓という、世代は違っても同じ場所で過ごした思い出から紡ぎ出される緩やかな絆は消えないものです。

○ 楽しんで取り組む

この原稿を書くにあたり、現在の東京支部執行部の方々から寄稿された原稿を見せて頂きました。皆さまの寄稿文には共通して書かれているものがあります。「さまざまの方とのつながりがあるから生活・人生が豊かになっているのだ」と。そして楽しんで書かれておりました。

これから、つながりや人間関係はますます希薄になっていくように思います。私も会社の同窓会の幹事をやっていますが、入社退社のお知らせに、最近では若い方の転職に伴う退社が次第に増えています。「どうかしないといけないね」と言うものの、名案や即効薬がある訳でもありません。やらされ感があると続かずダメです。

2020年に『時習館かんさい』に寄稿されたプロフェッサー鈴木さんの「高齢化による会員数の減少は避けられない状況(=「タテ」の交流の減少)です。このため、今後この「ヨコ」(=支部間)の交流が一層重要になってくると思われる」、このことを事務局メンバーとしても心に留めていきたいと思っています。

関西支部の皆様、今後ともよろしくお願いたします。

○ どうしても書きたい独り言

長くなりましたが、どうしても書きたいことがあります。もうしばらくお付き合いください。2025年の年明けに米国のNYタイムズが発表した「2025年に行くべき52カ所」に日本では富山と大阪が選ばれたというものです。



「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに2025年4月13日から開催された大阪・関西万博イメージ画像

大阪については「大阪・関西万博」の紹介と梅田の北にオープンした「グラングリーン大阪」を画期的プロジェクトと評価していました。この『時習館かんさい』が発行されるころには万博も開幕し、グラングリーン大阪もグランドオープンしていることでしょう。



心地良い空間が整備されたグラングリーン大阪

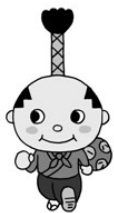
万博については政治的にも経済的観点、まちづくりの観点からもいろいろとされています。小学生の時に見に行った1970年の大阪万博のテーマは「人類の進歩と調和」で社会全体進歩発展することが幸福になるという当時の様子が分かります。2025年のそれは「いのち輝く未来社会のデザイン」、哲学的で難しいなと感じます。与えられたことに対処するのではなく、社会の課題を自ら見つけて解決しようということが求められる時代になってきたのでしょうか。これは『みずから考え、自ら成す』という時習館の校訓そのもののです。



満を持して発売された「地球の歩き方 大阪 2025~26」

皆さま、「グラングリーン大阪」は大きな公園があり心地よい空間が整備されています。是非一度訪れて頂ければと思います。私も「地球の歩き方 大阪」も参考にまたゆっくりと大阪を歩いてみたいと思います。

特別投稿



伝統を継承する大切さ

～第44回名古屋支部総会&交流パーティーに携わり～

名古屋支部 杉浦 祐介（時習52）



2024年度の第44回時習館同窓会名古屋支部総会の実行委員長を仰せつかり、無事任務を終えたところです。準備から開催までに経験したことは私にとって凄く貴重なものでした。

そこで得たものは、私だけでなく、いや名古屋支部だけではなく、他支部の同窓会活動でも貴重なものと思います。その概要をありのままにお伝えすることで、「関西支部の皆さんに少しでもお役に立てば」と考え、投稿いたします。

○ 4年ぶりの名古屋支部総会の開催

2020年から長期にわたって影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症の拡大により、対面による支部総会の開催は実に4年ぶりでした。他支部でもいくばくか同窓会活動の休止期間があったことでしょう。



総会での支部長挨拶

休止後の再開には、それ相当のエネルギーが必要です。私たちもその洗礼を受けた気がしています。

実行委員会は52回生が幹事年度でしたが、コロナ禍により開催できなかった50回生51回生の参画を得た体制で実施しました。ただ、実行委員会メンバーの誰もが支部総会に参加した経験がなかったため、手探りでのスタートを切らざるを得なかったです。そこでは先輩方のご助言がいかにか大事か身に染みて感じました。

特に松原幹事長の全面サポートでどれほど助けられたか、また、毎月「時習亭」を開催していただいている点も助けとなりました。年配の方々を含め、全年次の方々と同じ目的で集まるのは難しいものです。同窓会活動は総会だけではなく、各種行事との連携で成り立っていることを思い知らされました。



実行委員および担当年次の皆さん

○ 「持続性のある総会づくり」を目標に

開催日9カ月前となる2023年10月に第1回企画会議を開催。経験も過去資料も持ち合わせていない中、先輩方からは「4年ぶりの開催だから過去に囚われ過ぎず、新しい形を提案してもよい」というご意見をいただいていたため、「持続性のある総会づくり」をテーマとして、フラットな視点から次の3つの基本方針を立てました。

- ① 継続的に利用できる新会場で低負担の基盤をつくる
- ② DX化を進める
- ③ 若者の参加を促す

これらは同窓会活動における共通のテーマかと思えます。取り敢えず実行委員会で現状の把握から始めました。その中で浮かび上がった課題に対し実行委員会で真剣な討議を行い、解決案を見出していきました。詳細は紙面の関係で省きますが、残すべき伝統と変えるべき慣習がありました。ここでは、結果のみをお伝えします。

○ 駅から近く、リーズナブルな料金の会場

より多くの会員が参加する条件の第一は、やはり会場にあります。

最近の物価高騰、インバウンドによる影響等で、ホテルは以前に比べ様変わりしています。小さな都市でも予約がむずかしく、料金も想像を超えます。名古屋市周辺ホテルも例外ではありません。軒並みの料金値上げや建て替え等もあり、厳しい条件でした。今後も継続しやすい会場探しから始めました。料金面やアクセス面、会場設備等を総合的に勘案し、次年度以降も利用しやすい会場選定を目指しました。

先ず、アクセス面です。足腰の弱い方もおられます。年齢も 90 歳前後の方が参加しやすいよう配慮しました。それには駅から近いことが条件、あまり高低差のないところ等々希望を上げればきりがありませんが、いくつかの案の中から、金山の駅横で改札口と同じフロアで行ける「ANA クラウンプラザグランコート名古屋」に決めました。



ANA クラウン
プラザグランコート名古屋

次は料金です。若手の参加を促すという意味では、なるべく従来の 10000 円以内に抑えられたら良いと考えていたのですが、これは難題でした。どのホテルも軒並み大幅な値上げがされていることから会費を上げざるを得ない状況となり、何とかやりくりし、会費を「12,000 円」にすることにしました。昨今の状況から、止むを得なかったと思っています。

看板等の備品についても次回以降継続して利用できるよう整備し、低負担で開催できる基盤をつくることに注力しました。しかし今後、更なる値上がりも想定され、高額な会費が参加の障壁となってくる可能性があるかと思えます。皆さんの地区はいかがですか。

○ Web サービスや SNS 利用で効率化を

今までは案内状及び申込書を郵送のみで行っていました。そのため、次のような問題点があげられました。

- ① 発送作業や申込書の回収に相当の労力とコストを要する。
- ② プライバシーポリシー保護に難点がある。

そこで、セキュリティーを配慮した Web サービスや SNS のみでの運用を検討してきました。

しかし直ちに移行するには数々の課題がありました。会員名簿に相当するメールアドレス名簿やライン管理情報が無いこと、また Web 利用に関する年代間格差、情報のバックアップ体制（高校卒業後、転勤や PC 変更、その他の理由によるアドレス変更など）に一元管理体制やセキュリティーシステム等が挙げられました。したがって今回は出来る範囲での Web 活用を行い、「チラシ郵送＋Web 応募」というハイブリッド方式での実施としました。

Web 応募とすることで集客への懸念もありましたが、先輩方のご尽力もあり、目標であった約 140 名の方に参加していただき、メールアドレスも取得できたため、コスト低減と段階的な DX 化への足掛かりになったと考えています。

デジタルツール（SNS やメール等）で案内や出欠確認が行えるようにするだけでも相当負担（手間・コスト）が楽になると思います。全世代をカバーするという意味では、支部の LINE 公式アカウント（有料版）を開設し、登録者を拡大していくのが最も近道な気がしています。

DX 化は Web 活用の普及拡大から進め、究極的には本部、各支部協力し、管理体制も含め、一元管理体制を構築することが求められます。（私見ですが、3、4 年が経過し、ある程度登録者が集まった段階で、紙での案内を完全廃止してもよいのではと思います）

○ 若い人の参加を促すきっかけ

同窓会活動への参加は担当年代を除いて、比較的年齢層の高い人が多い傾向にあります。

同窓会の伝統を継承する上では、若い人の参加が不可欠です。そのためはどうしたら良いかを考えてみました。

実行委員会メンバー全員が初参加ということは、こうした会合が行われていたことを卒業から 25 年が経って初めて知ったということです。「もっと早く知っていたら参加したかった」という意見も多数挙がっていました。同窓会情報をいかに若年層まで伝えていくかが第一の課題です。それには高校卒業時や時習館の SNS アカウント等で「本部・支部の存在」を周知するなどの工夫が必要かもしれません。

第二に、若い人が同窓会活動に触れる機会をできるだけ多く作ることです。

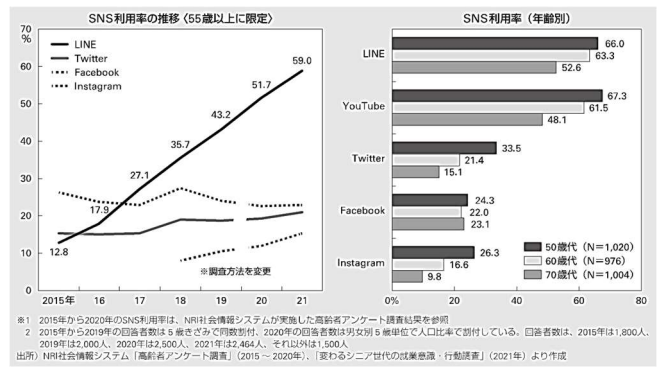


総会での講演『若手同窓生の活躍と展望』
講師 村上嘉一氏（時習70）

そこで基調講演の講師として 70 回生の若手経営者である村上嘉一氏を起用し、「若手同窓生の活躍と展望」と題して実施しました。LINE 公式アカウントを活用した広報活動にも取り組みました。十分とは言えないまでも若者の参加促進という面から次につながるチャレンジが行えたのではないかと考えています。

DX化への切り替えが一足飛びに行えない現実もありますが、今後ますますDX化や SNS の活用を進め、若年層へも情報が届く体制を構築していただきたいと思います。

それと共に、若年層が興味を引くプログラムの充実が必要です。それには若者を積極的に企画立案に加えていただけることを希望します。



SNS 利用率の推移
2015 年から 2020 年の SNS 利用率で、NRI 社会情報システムが実施した高齢者アンケート調査結果による。LINE の利用率の伸びはほかの SNS などと比較し顕著であり、確実にシニア世代への普及が進んでいる。

○ 実行委員長の任務を終え

支部総会は、コロナ禍で 4 年ぶりの開催となったのですが、足が遠のいてしまった方がいる一方、待ち望んでいた方もおられ、約 140 名もの方にご参加いただきました。交流パーティーも大いに盛り上がり盛況のうちに終わることができました。

私自身も初参加で、実行委員長という大役を任せましたが、そのお陰で改めて高校の同窓生に会える喜びを感じるひと時であったことはもちろん、時習館高校の伝統やつながりを実感する大変有意義な会合でした。

今後もより発展的に継続され、時習館同窓生の絆がより広がり強固なものになっていくことを期待し、微力ながら引き続き応援していきたいと思えます。

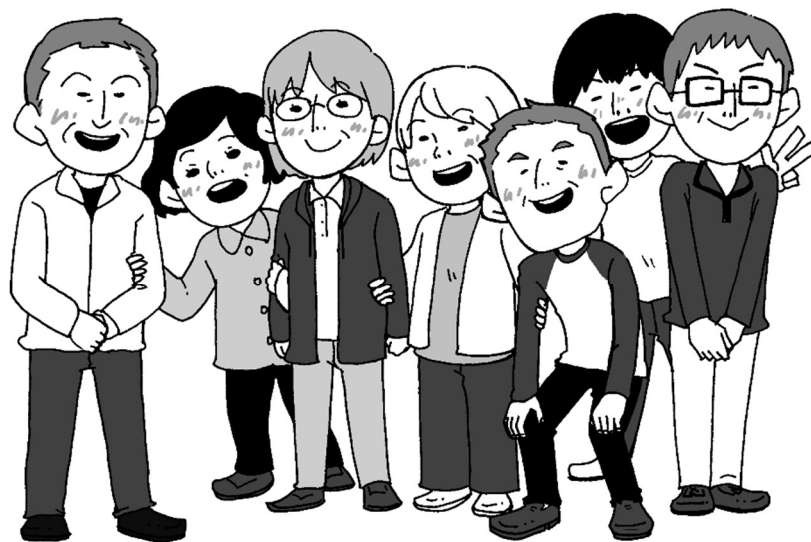
末筆となりますが、名古屋支部総会の開催に当たり、竹内隆夫関西支部長をはじめ、関西支部、他支部の皆様のご理解とご協力に心より感謝を申し上げます。



東京支部 館野支部長 関西支部 竹内支部長
来賓挨拶

支部だより

支部規約と 支部活動



行事報告



奈良国立博物館特別展「空海」を観て
～ちょっと間の楽しみ～

伊藤 忠男（時習 13）



コロナ禍という特殊な事情で 2020 年度から続けている「ちょっと間の旅」。有志で声を掛け合い楽しむ近場の日帰り旅です。

この旅は、亡小野英道さん（時 13）が企画し 4 年間続いてきましたが、彼は昨年（2024 年）の年明け直ぐ、突然亡くなられてしまいました。彼は、その年の「ちょっと間の旅」候補数点を考えておられました。彼自身予期せぬ最期であったことが偲ばれます。

コロナ禍が収束しようとする時期ですが、2024 年も彼の遺志を継ごうと思い、候補の中の一つ、奈良国立博物館特別展「空海」を観に行くことにしました。空海生誕 1250 年の記念特別展です。

空海特別展は 2024 年 4 月 13 日～6 月 9 日までの開催。そのほぼ中間にあたる 5 月 17 日（金）に設定。いつものメンバーに吉田久善さん（時 15）を加え、近鉄奈良駅お馴染みの行基菩薩前で待ち合わせ、そこから旅のスタートです。



近鉄奈良駅行基立像前（待ち合わせ場所）

○ コロナ禍の収束を窺わせるインバウンド客

近鉄の乗客はもちろん、近鉄奈良駅や博物館に向かう道すがら、出会うのはインバウンド客ばかりでした。欧米の方、東南アジアの方に風貌では区別のつきにくい中国、韓国の方々。飛び交う言語は聞き取れないものばかりで、あれ、日本では

ないかとも思い、まわりの看板を見た気がします。豊かな色の衣服を身に纏った女の人が鹿に煎餅をあげ、歓声を挙げている姿、メキシコの方のようです。



奈良公園で楽しむインバウンド客

インバウンド消費の回復は今後の景気回復の柱になる予感がしました。

奈良公園道路の坂を上がると、国立博物館が見えてきました。博物館の正面に空海の看板が見えます。ここから本番です。



奈良国立博物館前にて

○ 密教の世界観

入場券を購入し、展示室に足を踏み入れました。第 1 章展示室では「密教とは？—空海が伝えたマンドラの世界」と題して、立体曼荼羅が展示されていました。「大日如来を取り囲む仏たちを、国宝の座像を用いて立体的に再現したもので、曼荼羅

の世界をダイナミックに体感できる」とパンフレットには記されています。しかし、私には、曼荼羅の世界を十分に理解できるまでには至りませんでした。



空海展第一展示室の立体曼荼羅

私が最も度肝を抜かれのが、第2章「密教の源流一陸と海のシルクロード」で、インドネシア所蔵の「金剛曼荼羅彫像群」が陳列されている一室です。そこでも、立体的な曼荼羅が表現されていました。



「金剛界曼荼羅彫像群」宇宙的世界観を表現した一室

ここからは、私の偏見に満ちた大胆な仮説です。密教に関する説明文には、大日如来がすべてを従え、あまねく愛・恩恵を授けている世界観とあります。ところが、この立体空間を見ていると、もっと科学的な世界観に引き込まれました。宇宙の中に置かれた世界、太陽（大日如来）を中心に万物が回る世界を想起させる不思議な感覚です。空海自身、密教の教えは宗教を超える感覚を感じたのではないのでしょうか。その後の空海の行動を見ると、20年間唐で学ぶことが義務付けられながら、2年で帰国します。彼はその言い訳として「この地では、もはや、学ぶものなし」と言い放っています。事実、ある意味、今までの教え

である「仏陀を中心として動く世界」のみでは、この世界、宇宙の中にある世界の万物すべてに光を届けられないと考えた気がします。

まさに、宗教者でありながら、空海自身の思いは別にして、限りなく科学への道がちらついて見えます。圧倒的なスケールで、宇宙的な世界を表現した立体曼荼羅は、未知なる宇宙そのもののような錯覚を与えてくれました。

○ 空海のその後

留学僧として義務づけられていた20年の修学期間を2年ほどで帰国。唐で出会った師、恵果阿闍梨から短時間で密教のすべてを伝授され、「一日も早く故郷に戻って、密教を流布せよ」と諭されたとも伝えられていますが、空海は無断帰国の罪を問われ、大宰府政庁から観世音寺に3年間留め置かれたとされています。

しかしその間、何をしていたか闇の中です。むしろ、父方の佐伯一族は海運業。船を利用して、日本の各地を訪れたと考えるのが自然な気がします。そこでは、土木技術や鉱山技術を駆使し、極楽浄土ではなく、今いる人の幸を追い求めることで、仏の恩恵を授けようとしたものではないでしょうか。ここでも、宗教者よりは技術者の側面が見え隠れします。

○ 空海展を観て後

空海の思わぬ世界に触れ、その後、興奮状態が長く続きました。

高野山には、仏教だけではなく、民族や宗教の違いに関わらず全てを受け入れています。十字架のお墓もあります。今もって、空海があまねく照らす大日如来（太陽）は万物に恩恵を与えるとの考えが、脈々と流れている気がしています。

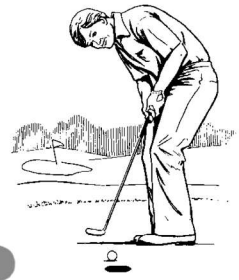
「～ファースト」と称して、自国のみ、自分のみ、それ以外は排斥する。今の世界に空海が生きていれば、嘆くことでしょう。

空海展を観て、共存共栄、多様性こそが、人の幸福には欠かせないものだとの思いを、さらに強くしたものです。



「時習館同窓会関西支部ゴルフ会」

報告ならびにお知らせ
ゴルフ会幹事 利根川 躍 (時習 21)



時習館同窓会関西支部では例年春と秋にゴルフコンペを開催しています。2024年は5月31日(金)に阪奈カントリークラブ、また12月5日(木)に愛宕原ゴルフ倶楽部で開催しました。

両日とも天候に恵まれ絶好のゴルフ日和になりました。スコアに関しては、全員が満足というわけにはいきませんでした。皆さん楽しめてのではと思います。

今年も5月と11月ごろを予定していますので、初めての方も是非ご参加ください。

興味のある方は、21回生 利根川(TEL 090-1226-3916)までどうぞ!

○ 第47回 (2024年5月31日)

於 阪奈カントリークラブ

《参加者》

石川吉之助 (時 12)、白井一次 (時 17)、
花井俊作 (時 17)、山村信哉 (時 17)、
岡田順子 (時 20) 夫妻、河合行朗 (時 20)、
鈴木 自 (時 20)、青山 寛 (時 21)、
利根川躍 (時 21)、藤井順子 (時 28)、
ゲスト N・N氏

	アウト	イン	GROSS	H・D	NET
優勝	51	54	105	28.8	76.2
2位	44	51	95	18.0	77.0
3位	45	57	102	24.0	78.0
4位	53	52	105	26.4	78.6
5位	59	60	119	39.6	79.4
6位	52	47	99	19.2	79.8
7位	53	54	107	26.4	80.6
8位	49	50	99	18.0	81.0
9位	55	53	108	26.4	81.6
10位	51	59	110	27.6	82.4
11位	58	62	120	37.2	82.8
12位	60	64	124	34.8	89.2



第47回大会参加者写真

○ 第48回 (2024年12月5日)

於 愛宕原ゴルフ倶楽部

《参加者》

石川吉之助 (時 12)、白井一次 (時 17)、
花井俊作 (時 17)、山村信哉 (時 17)、
河合行朗 (時 20)、鈴木 自 (時 20)、
青山 寛 (時 21)、鈴木晴久 (時 21)、
利根川躍 (時 21)、藤井順子 (時 28)、
吉田知未 (時 50)、ゲスト A・O氏
ゲスト N・N氏 (途中参加)

	アウト	イン	GROSS	H・D	NET
優勝	48	59	107	32.0	75.0
2位	56	49	105	28.4	76.6
3位	58	57	115	38.0	77.0
4位	45	49	94	16.4	77.6
5位	50	51	101	22.4	78.6
6位	66	71	137	58.4	78.6
7位	48	52	100	20.0	80.0
8位	59	51	110	29.6	80.4
9位	56	55	111	29.6	81.4
10位	53	50	103	21.2	81.8
11位	54	57	111	28.4	82.6
12位	57	53	110	27.2	82.8



第48回大会参加者写真

時習館同窓会関西支部規約

第54回時習館同窓会関西支部総会にて改正

1. (名 称) 本会は時習館同窓会関西支部という。
2. (目 的) 本会は会員相互の親睦を計ることを目的とする。
3. (事 務 局) 〒530-0037 大阪市北区松ケ枝町6番1号グロウビル505
竹内総合法律事務所(代表 竹内隆夫)に置く。
4. (会 員) 本会の会員は時習館同窓会員で関西地方に在住する者、関西地方以西で希望する者および関西地方にゆかりのある者で希望する者とする。
会員の構成として、「正会員」を基本とするが、卒後50年経過したものを「シニア会員」、大学に在住しているものを「学生会員」と称する。
5. (役 員) 本会に次の役員をおく。

支 部 長	1 名
副 支 部 長	若干名
理 事	若干名
事 務 局 長	1 名
会 計	1 名
監 事	若干名
広 報	若干名
6. (役員の任期) 役員の任期は2年とする。但し再任を妨げない。
7. (役員の選任) 役員は総会において選出する。
8. (役員の職務)
 - (1) 支部長は本会を代表し、会務を統括する。
 - (2) 副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故あるときは、その職務を代行する。
 - (3) 理事は支部長・副支部長とともに本会業務の運営にあたる。
 - (4) 事務局長は会務の事務、情報および調整業務全般を掌理する。
 - (5) 会計は本会の会計業務にあたる。
 - (6) 監事は本会の会計監査にあたる。
 - (7) 広報はホームページ等により内外に会務の情報を発信する。
9. (総 会)
 - 9-1 総会は会員をもって構成し、原則として毎年1回開催する。但し、必要に応じて臨時総会を開催することができる。
総会は支部長が招集する。
総会に提出し、その承認を受けなければならない事項は次のとおりとする。
 - (1) 前年度の会務及び収支決算報告
 - (2) 新年度の収支予算
 - (3) 役員の選任
 - (4) 規約の改廃
 - (5) その他の重要な事項
 - 9-2 諸般の事情で通常総会開催が困難な場合、郵便投票またはオンラインによる総会開催に替えることができる。
10. (理 事 会) 理事会は、支部長の招集により開催し、本会の運営および企画の審議にあたる。
理事会は総会にかわって必要事項を議決することができる。但し、その内容を総会に報告しなければならない。
11. (議 決) 会議の議決は、出席会員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。なお、あらかじめオンライン環境が整えられている場合は、オンラインによる出席も認めるものとする。また、通常開催が困難な場合、郵便投票またはオンラインによる投票も出席と見なすものとする。
12. (経 費) 本会の経費は、会費、本部からの支部支援金、寄付金およびその他の収入金をもってこれにあてる。
13. (会 計 年 度) 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。
14. (個人情報等の管理) 本会は、本会の管理及び運営等に資するため、母校、本部及び会員等から取得した会員の個人情報につき、関係法令を遵守し、適切に管理、運用するものとする。なお、詳細は別途プライバシーポリシーに定めるものとする。
15. (規約の変更) この規約は総会の議決によって変更することができる。

時習館同窓会関西支部プライバシーポリシー

本プライバシーポリシーは第54回総会において承認された規約「14. (個人情報の管理等) 本会は、本会の管理及び運営等に資するため、母校、本部及び会員等から取得した会員の個人情報につき、関係法令を遵守し、適切に管理、運用するものとする。なお、詳細は別途プライバシーポリシーに定めるものとする」に従い定めたものである。

時習館同窓会関西支部（以下「当支部」という）では、会員相互の親睦を図るため、同窓会総会、会合の開催その他当支部の目的達成に必要な業務を行っており、それに必要な会員の個人情報を収集・保管しております。

当支部は会員の個人情報保護の重要性を強く認識し、当支部規約に従い、以下の通りプライバシーポリシー（以下「本ポリシー」という）を定め、会員の個人情報の適切な保護に努めます。また、今後とも個人情報への意識向上を図り、個人情報の取り扱いには細心の注意を図ってまいります。

会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

【法の遵守と個人情報の管理】

当支部では「個人情報保護に関する法律」やその他個人情報に適用される関係法令を遵守するとともに、一般に公平と認められる個人情報の取り扱い慣行に準拠し、本ポリシーの下で、個人情報を厳重に管理致します。また、紛失、破壊、改ざん及び漏えいなどを防止するため、情報セキュリティ対策等の必要な措置を講じ、個人情報の保護に努めます。

【個人情報の定義】

当支部での個人情報とは、会員個人に関する情報であって、特定の会員を識別できるものをいいます（その情報のみでは識別できない場合でも、他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の会員を識別できるものを含みます）。

なお、具体的に当支部が保有する個人情報は、氏名（現姓名、旧姓名）、生年月日、連絡先住所、電話番号、FAX番号、勤務先名、最終学歴、所属クラブ（在学時代）、メールアドレス、卒業回及び出身小・中学校等です。

【個人情報の利用目的】

当支部は、本会会員よりいただいた個人情報は以下の目的に利用するものとし、その目的を超えて利用することはありません。

- ① 当支部の主催する業務などの報告、案内、及びそれにかかる連絡事項の送付。
- ② 会報等（電子媒体によるものを含み、当支部の活動目的に適うものに限る）の配布。
- ③ 会費、寄付金の收受管理、会費徴収にかかわる事務、案内。
- ④ 当支部もしくは時習館高校、時習館同窓会本部および同窓会他支部からの各種依頼の伝達・送付。
- ⑤ その他、当支部の規約に定める、会員相互の親睦を図る目的の遂行のために必要と判断される諸業務。

【業務委託先に対する個人情報の提供、監督】

利用目的に係る業務を行うにあたり、その業務の一部を委託し、利用目的の達成に必要な範囲内で業務委託先に提供する場合（会報の印刷、郵便物の発送等）は、業務委託先との間で取り扱いに関する契約を取り交わし、適切な管理を行います。

【個人情報の第三者への提供】

当支部が保有する個人情報は、第三者に提供致しません。ただし、次のいずれかに該当する場合を除きます。

- ① 会員の同意がある場合
- ② 法律に基づき開示しなければならない場合
- ③ 当支部の合意の下、時習館高校、時習館同窓会本部もしくは他の同窓会支部が、その利用目的の範囲内で利用する場合
- ④ 人命・身体・財産等に対する緊急の必要性がある場合。

なお、個人情報の第三者への提供を望まない場合は、当支部までお申し出ください。お申し出がない場合は、原則として本ポリシーに従い取り扱い致します。

【個人情報の開示、訂正、削除等】

当支部は、本人からの開示、訂正、削除の請求があった場合は、当該本人であることを確認のうえ、速やかに対応致します。

【免責事項】

当支部は、本ポリシーに則り適切に情報管理を行いますが、会員が個人的に所有する他の会員の個人情報を提供した場合は、当支部は一切の責任を負わないものとします。

【本ポリシーの改定】

本ポリシーの改訂は理事会にて行うことができます。改定した場合は速やかに、当支部の電子情報にて一定期間掲載するなど必要な措置を講じます。

【お問い合わせ】

当支部の個人情報の取り扱いに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

時習館高校同窓会関西支部事務局

〒530-0037

住所 大阪市北区松ヶ枝町6番1号グロウビル 505
竹内総合法律事務所

Tel : 06-6949-8601

E-mail : jishukan.alumni.kansai@gmail


事務局 から

お知らせとお願い




▼▼▼LINE 公式アカウントへのご登録のお願い▼▼▼


事務局では、みなさまへの連絡手段を、より早く、便利に行うため、LINE 公式アカウントへのお友達登録をお願いしています。下の QR コードを読み込み、ご登録をお願いいたします。



**時習館同窓会関西支部の
LINE公式アカウントへお友達登録する**



**スマートフォンで
右のQRコードを
読み取ってください**



もし LINE よりも e メールの方が便利だという方は、メールアドレスをお知らせください。事務局のメールアドレスはこちらです。➡ jishukan.alumni.kansai@gmail.com

お知らせの際は、氏名と卒業回を記載いただけますと幸いです。

参考：

jishukan.alumni.kansai@gmail.com
件名：メールアドレス登録
氏名：
卒業回：



会員の動静

《お亡くなりになられた方》ご冥福をお祈りいたします。

- ☆豊47 藤田 彰久 ☆時2 福井 節子 ☆時4 島田 三郎 ☆時8 山内 洋一
 ☆時9 伊藤 純正 ☆時10 大石由紀子 ☆時14 亀井 勇二 ☆時19 富山 幸世
 ☆時20 田中 登

関西在住者（時習館関西支部の会員）の中で、2023年同窓会会員名簿にて住所不明の方、およびその後転居されたと思われる方のリストを記載いたします。

住所不明者リスト

年次	氏名	年次	氏名	年次	氏名	年次	氏名
時2	白谷 光春	時25	鈴木 克実	時44	神谷 信宏	時61	野村 美奈
時5	本部 純子	時29	福井 潮	時50	鈴木 紘一	時65	高阪 朱里
時12	斎藤 博康	時30	都築 昌男	時50	田巻 文	時66	植村 優惠
時19	壁谷 隆幹	時33	大島 孝仁	時50	能村 賀子	時66	谷口 恵菜
時20	牧野 早苗	時33	柴田 浩之	時57	木曾 雄高	時66	野口拓真
時22	原田 哲二	時35	神藤 圭治	時57	中宗根秀嘉		
		時36	藤井 朋行				

上記会員の方々の動静をご存じの方がおられましたら、事務局までご連絡下さい

会員の動静をお知らせ下さい

2023年に発行された時習館同窓会名簿をもとに、関西地区及び関西地区以西（希望者）在住者および関西と縁のある方を会員登録しています。会員同士の親睦・交流をより一層深めていただくのが目的で、個人情報保護という点にも配慮しながら、分かる範囲で総会・懇親会及び各種行事のご連絡を差し上げています。

ご連絡するにあたり、住所が分からなくなった方（住所不明者）、あるいは、関西地区在住者でありながら名簿から抜けている方がおられるかと思えます。ご存じの方がおられるか、また、記載事項に間違いを発見されたら、ご面倒でも**事務局（竹内総合法律事務所内 竹内支部長）**または**山村編集委員長**まで郵便、FAX、Eメール（宛て先は『時習館かんさい』表紙右上参照）または登録後にラインでのご連絡をお願いいたします。

今回の名簿に限りませんが、あなた自身がいずれかへ入学、就職、転任、転居の際、または改姓・改名の時もお知らせくださるようご協力をお願いいたします。

その時は次の6点を明記してご通知いただけたらありがたいです。

- ①卒業年次 ②氏名（旧姓も） ③郵便番号 ④現住所 ⑤職業または勤務先（所在地・屋号・職務など）
 あるいは卒業または在學校名（詳しく科別も記入） ⑥（公開してもよい）電話番号か携帯電話番号

この名簿は会員相互の親睦と理解を図る目的で掲載しています。プライバシー保護については、本誌P65に記載のプライバシーポリシーに従い厳重に管理していますのでご安心ください。会員の皆様も同窓会関係以外の第三者に閲覧させたり、交付することは絶対にしない等、取り扱いにはくれぐれもご注意ください。

会計からのお知らせとお願い

2024年度 年会費納入額 (2025年3月31日現在)
シニア会員 222,000円 正会員 90,000円

会員の方々のご協力により、同窓会活動を維持してまいりました。今年度はシニア会員100名、正会員42名の方からの年会費の納入がありました。ありがとうございました。

年会費の納入をよろしく御願い致します

日頃から時習館同窓会関西支部の活動にご協力いただきありがとうございます。

当同窓会の活動は会員の皆様の年会費によって運営されております。機関誌『時習館かんさい』の発行、他支部との交流、時習館関西のホームページの維持管理、総会の計画と準備等支部活動費に使わせて頂いております。会費は皆様と共により充実した活動を行っていくための大きな力となっております。同窓会が母校を支え、会員相互の親睦と啓発を支えるため、活動を継続・発展できますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。なお、振込は下記にてお願いいたします。

年会費振込について

従来通り、『時習館かんさい』の郵送時にゆうちょ銀行の振込用紙を同封しております。また、下記の銀行口座でもお振り込みができるようになっております。お近くの窓口やATMまたはインターネットバンキングにてお振り込みをお願い致します。

尚、銀行振込の際は、お名前の前にご卒業の回を入れて戴ければと思います。

三菱UFJ銀行

住吉支店 (店番 513)

普通 0071325

名義 時習館同窓会関西支部

正会員 2,000円、シニア会員は一口 (1,000円) 以上をお願いしています。なにとぞ、ご理解の上、ご支援、ご協力のほど、お願い申し上げます。

会計 花井俊作



『時習館かんさい』へ投稿してみませんか

自分の書いた文章や写真が冊子になって同窓生の手許に届くと考えるとワクワクしてきませんか？

最近感動したこと、学生時代を振り返ってみて思うこと、こんな活動をしています、こんなイベントに参加しました、最近こんなことを考えています、など、気楽に書いて『時習館かんさい』へ是非ご投稿下さい。「私の1枚!」のようにお気に入りの写真を紹介していただくような形式もOKです。

原稿、写真は1月末ごろまでに、「Eメール添付」「郵送」「FAX (写真は郵送かEメール添付で)」をお願いいたします。

〒665-0042 宝塚市逆瀬台1-11-4-1312

編集委員長 山村 信哉

TEL & FAX : 0797-74-4858 E-mail : nobu8yama@gmail.com

編集後記



ほっこりする「三河弁」

～残したい地域らしさ、多様で豊かな文化形成のため～



会員の皆さんから原稿をいただき、編集しながらいろいろな感想を語り合います。時には大いに盛り上がり、楽しませていただきます。本号においては磯田さんの方言に関する投稿記事でした。誰も一度は経験したこと。あんなこと、こんなこと、話題は尽きそうにない感じです。

○ 「ごんずり」と「こんきい」

同じ三河でも「そんな言葉知らないよ」と言うのがありました。「ごんずり」がそれで、「大掃除をしたら、『ごんずり』がぎょうさん出てきたよ」といった使い方。埃とか小さなごみのことを言うようです。西三河で使われると聞きますが、東三河の豊橋や豊川ではほとんど使われていないようです。また「こんきい」は西三河ではなく、どちらかという東三河地域で多く用いられた言葉。「この坂登ってきた、あ～あ、こんきいわ」といった使い方、疲れたことを意味します。同じ三河でも異なるのは面白いですね。

○ 方言は「よそ者」の言葉か

方言とはなんだろうか。物の本に依ると「方言とは一地方だけで使われる言葉。俚言(りげん)」。俚言の対義語が雅言(上品な言葉)とあり、標準語と違うことを強調。ちよっぴり蔑みを感じさせる言葉として説明されています。

私たち時習館卒業生は三河で生まれたか、三河で育った方(その両方の方)が多いかと思えます。三河弁に代表される三河文化の中で青春時代を送っています。その私たちが関西文化圏の中で生きていく場合、「よそもの」の目で見られがちです。

それは、その地域の交流圏、勢力圏外として見られることによります。特に中世は国と国の交流を厳しく制限した(隣の国は敵にもなる)時代で、そのことが大きく影響しているのかも知れません。言葉の響き、アクセント、人の目、どうしても気になります。住みにくく感じる人もいます。

皆さん何らかの経験をされたことがあるかも知れませんね。

○ 生活から生まれた言葉

地域独自の生活から生まれた言葉が全国に広がった例があります。例えば奥出雲地方で古代に起こり、今に伝わっている「たたら製鉄」では集めた砂鉄を、足踏みふいごから風を送り(その役目を「番子」が行います)、薪を燃やして溶かし、不純物を取り除きます。毎日毎晩火を絶やさないため、番子は交代交代で行います。いつしか、交代交代することは「代わり番子」という言葉として全国に広まります。こうした例は数多くあります。いや、生活から生まれた言葉のほとんどがそうした源を持っているのかも知れません。生活、習慣は地域により異なりますが、その中から生まれ育った言葉の広がりや地域間の交流の歴史や国やムラ等の勢力範囲等から差が出てきます。その差が共通語になったり、方言になったりします。隣町との違いはその理由です。

○ 三河弁を思い出し使ってみましょう

先に述べた通り、方言は地域の文化や歴史を反映して生まれ、根差してきました。その土地の風土や人々の暮らし、風習を感じ取ることが出来ます。たとえば、祭りやその時の掛け声。農機具の違い、畑仕事で一休みし、つい出る言葉、年末年始や盆などでの挨拶。これらに係る方言もあります。方言の持つ温もりは、故郷の風景を思い出させ、心に安らぎを与えてくれるのはそのためです。

小さい時から体に染みこんだ文化風習、嗜好は、同じではありません。言葉もまた同様です。

社会という共同体では、各地域の独自性が互いに尊重されることで多様な文化が育ちます。地域の心を大切にすると、心豊かな人を増やします。方言は「地域らしさ」の象徴です。

科学技術の進歩に比較し、人の進歩が遅い今、なおさら大切なことです。

三河弁はむしろ誇りをもって、守り育てることが大事な気がしています。皆さん、もう一度、三河弁を思い出し、話題に花を咲かせみてはいかがでしょうか。編集委員会

